

令和7年7月30日

力ムチャツ力半島付近の地震に伴う津波 警報発表時の行動に関する アンケート調査結果

【目次】

1. 調査概要	2	ページ
2. 市民及び当時市内にいた方向けアンケート結果	3~18	ページ
3. 町内会(自主防災組織)アンケート結果	19~24	ページ
4. 津波一時避難施設等アンケート結果	25~28	ページ
5. 公共施設アンケート結果	29~32	ページ
6. 庁内部局アンケート結果	33~38	ページ
7. 職員個人アンケート結果	39~44	ページ



令和7年12月11日
苫小牧市危機管理室

調査概要

1. 目的

令和7年7月30日に発生したカムチャツカ半島付近の地震に伴う津波警報発表時の市民の行動を把握するとともに、各組織等の課題や対応状況を今後の防災計画や施策に反映し、避難体制の改善等に役立てることを目的とする。

2. 対象

- ①市民及び当時市内にいた方 ②町内会（自主防災組織） ③津波一時避難施設
- ④公共施設 ⑤庁内部局 ⑥職員個人

3. 期間

- ①②令和7年9月1日～10月20日 ③令和7年9月1日～9月30日
- ④⑤⑥令和7年10月1日～10月20日

4. 方法

オンライン、各出張所、コミュニティセンター、郵送、メール、庁内インフォメーション

5. 回答

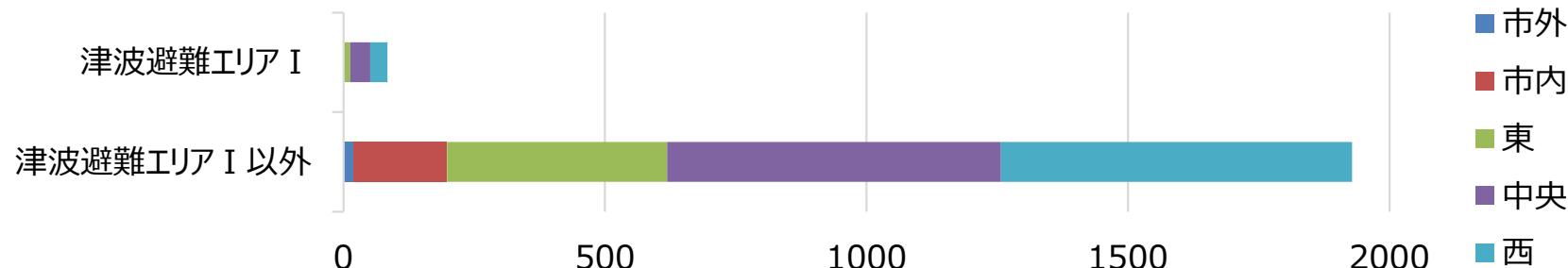
- ①2,012人 ②50町内会 ③8企業 ④31施設 ⑤65部局 ⑥291人

①市民及び当市内にいた方向け
アンケート調査結果

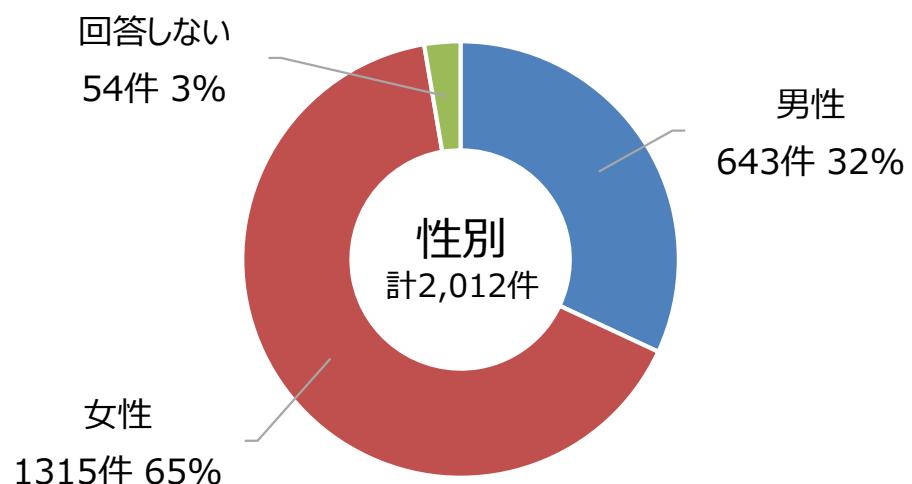
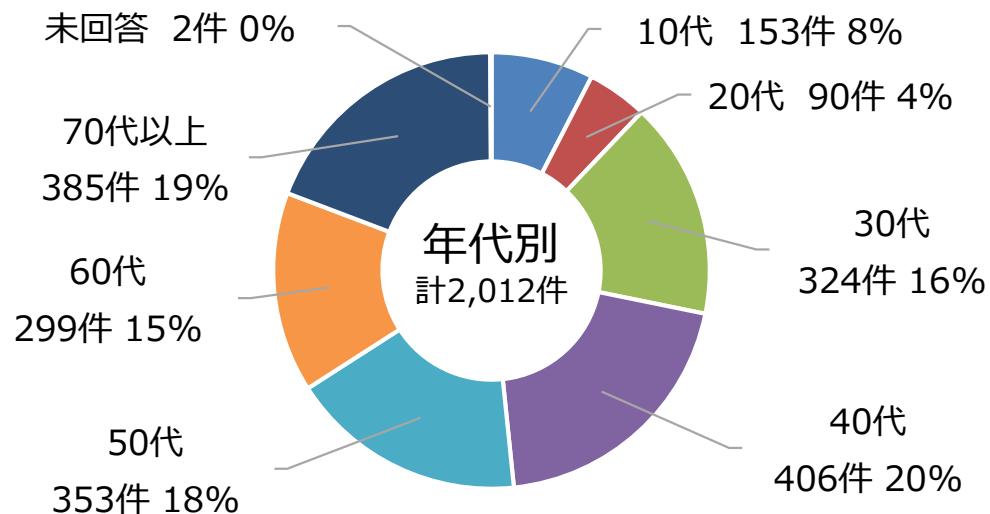


①市民及び当市内にいた方向けアンケート

1. 基本情報

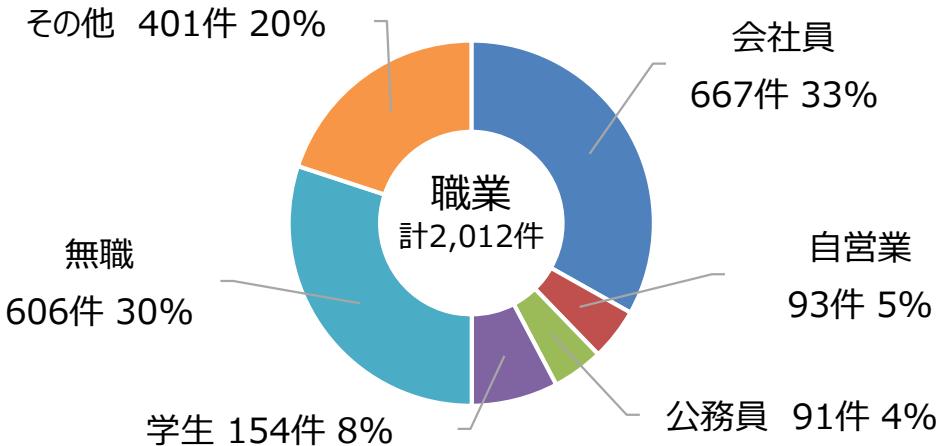


住まい/件数	市外	市内 (詳細不明)	東地区	中央地区	西地区	合計
津波避難エリア I	0	0	13	38	33	84
津波避難エリア I 以外	19	179	421	638	671	1,928

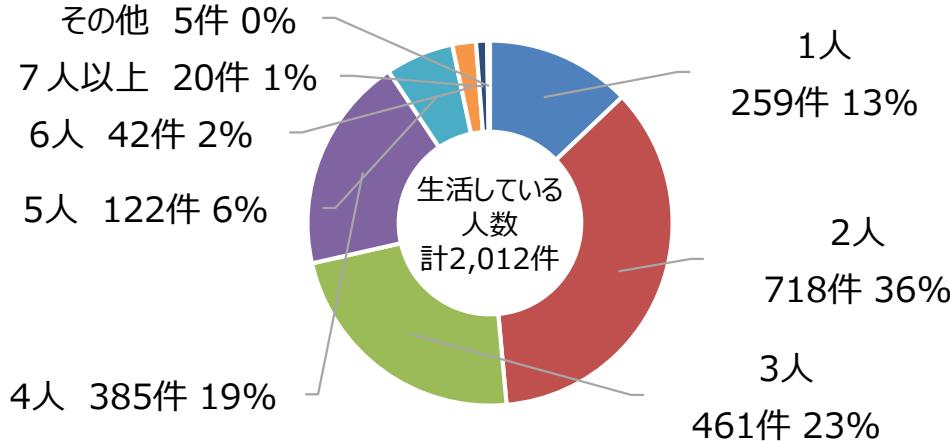


①市民及び当市内にいた方向けアンケート

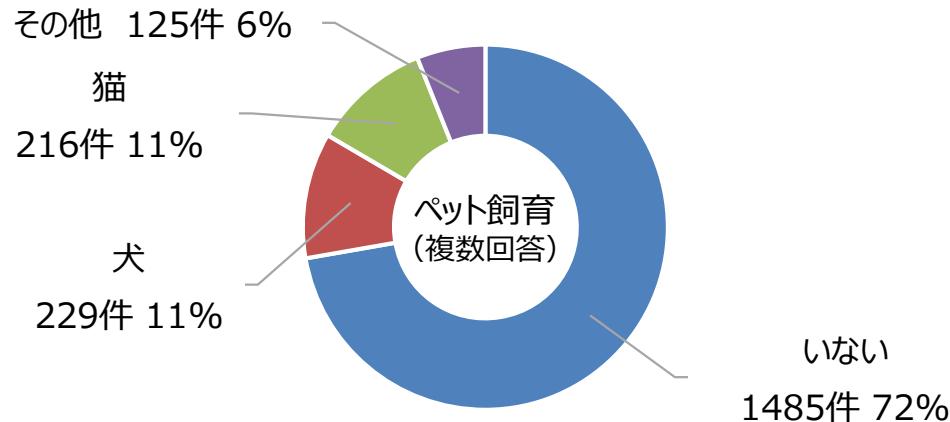
1. 基本情報



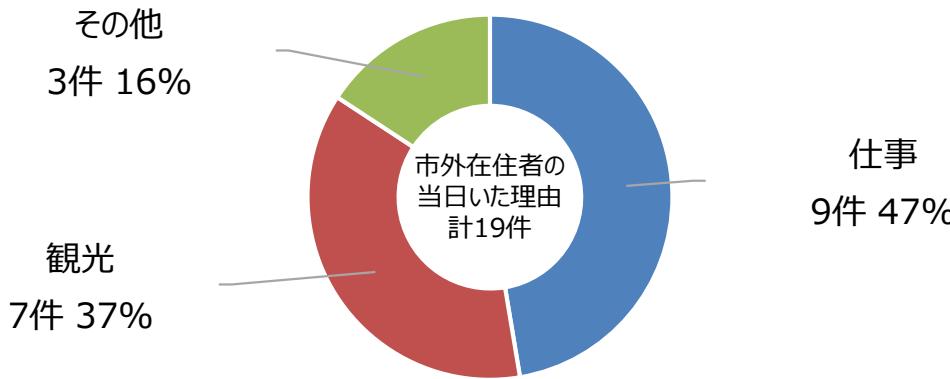
【その他自由記載概要】派遣社員、パート社員、専業主婦、年金受給者等



【その他自由記載概要】グループホームで数人等

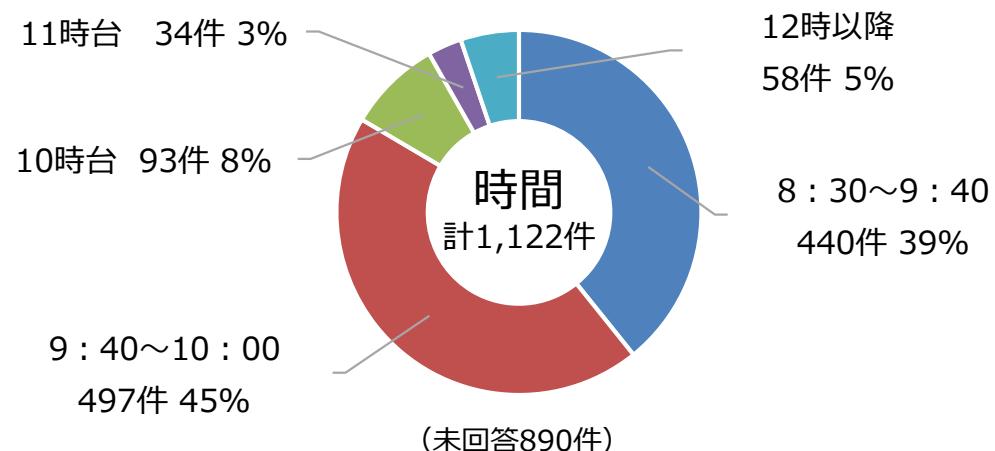
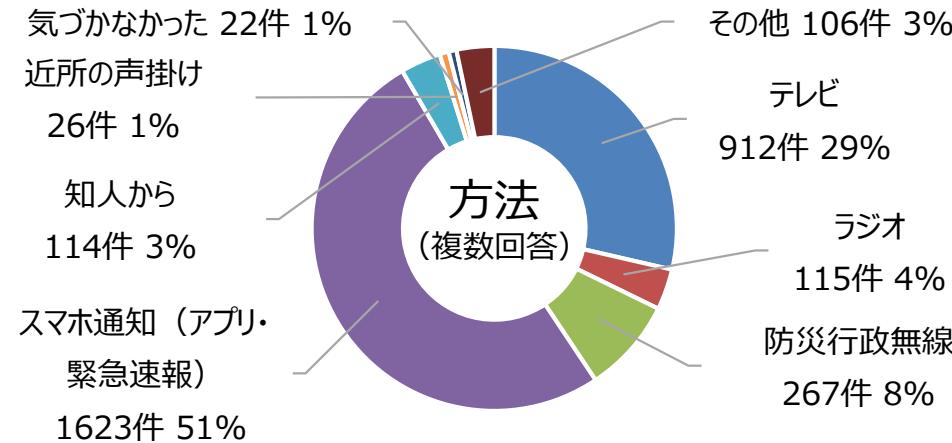


【その他自由記載概要】
哺乳類（ウサギ、ハムスター、モモンガ、ハリネズミ、リス等）、小魚類、
爬虫類（カメ、トカゲ、ヘビ、など）両生類（イモリ、カエル）鳥類、昆虫



【その他自由記載概要】病院、部活、里帰り出産等

2. 津波警報の認知について

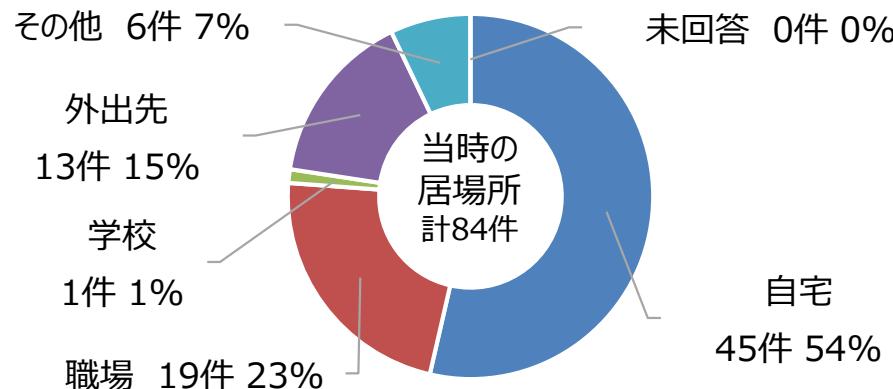


【その他自由記載概要】

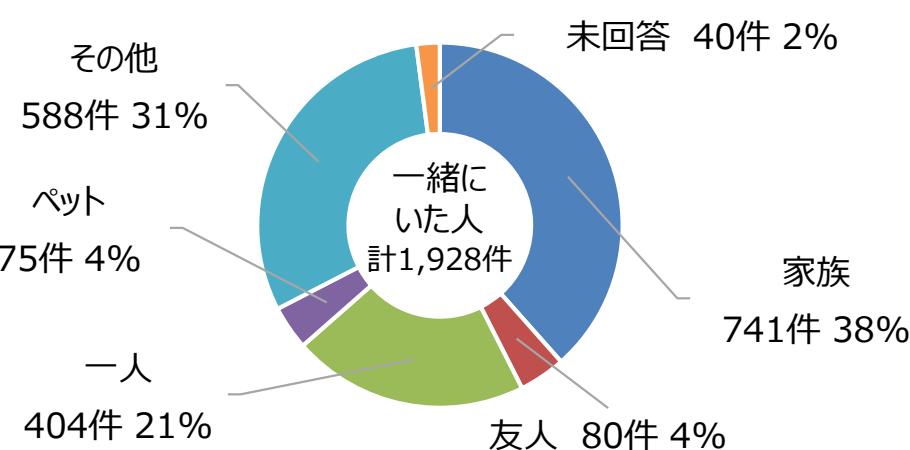
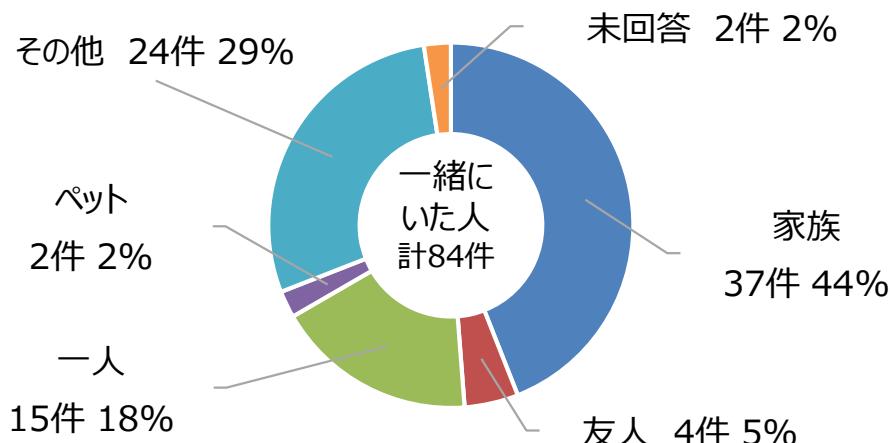
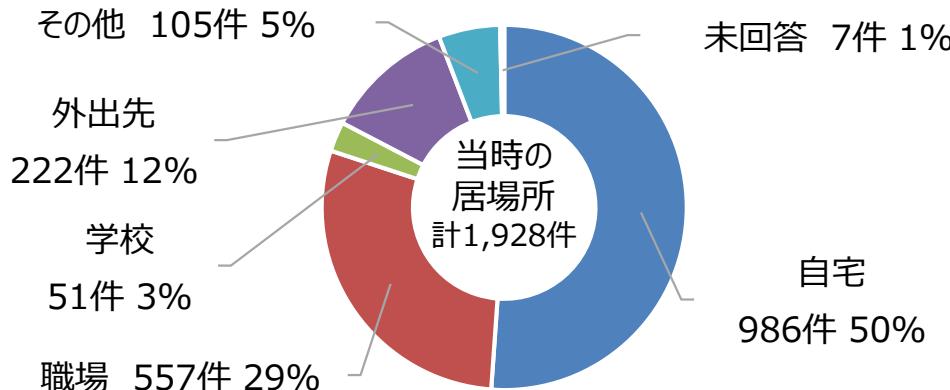
YouTube、職場のアナウンス、家族からの電話、市外の職場にて同僚から知らされた、インターネットニュース等

3. 当時の行動について

津波避難エリア I



津波避難エリア I 以外

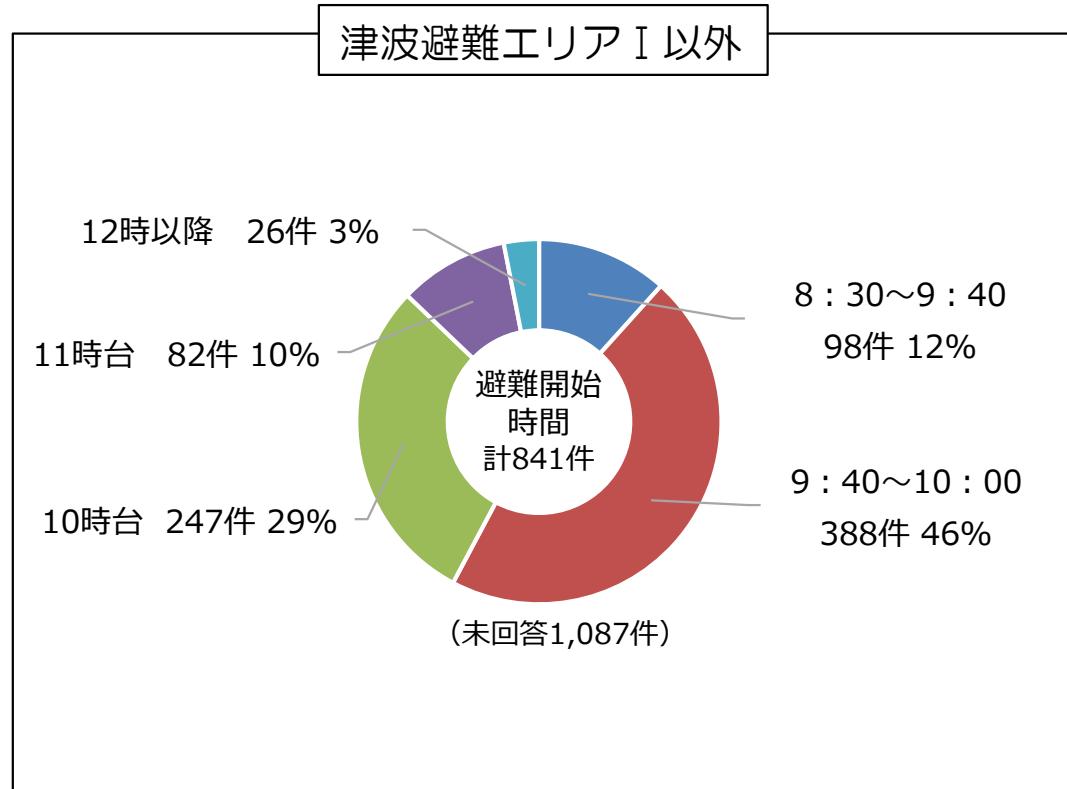
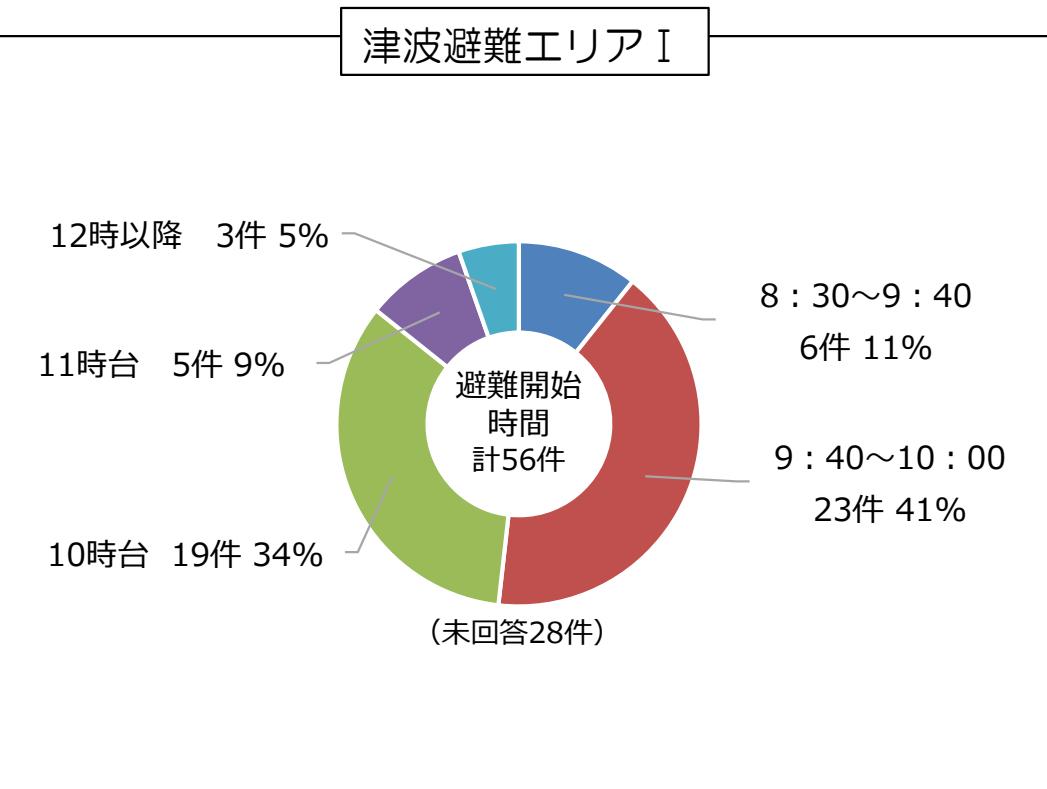


【その他自由記載概要】※全件集計

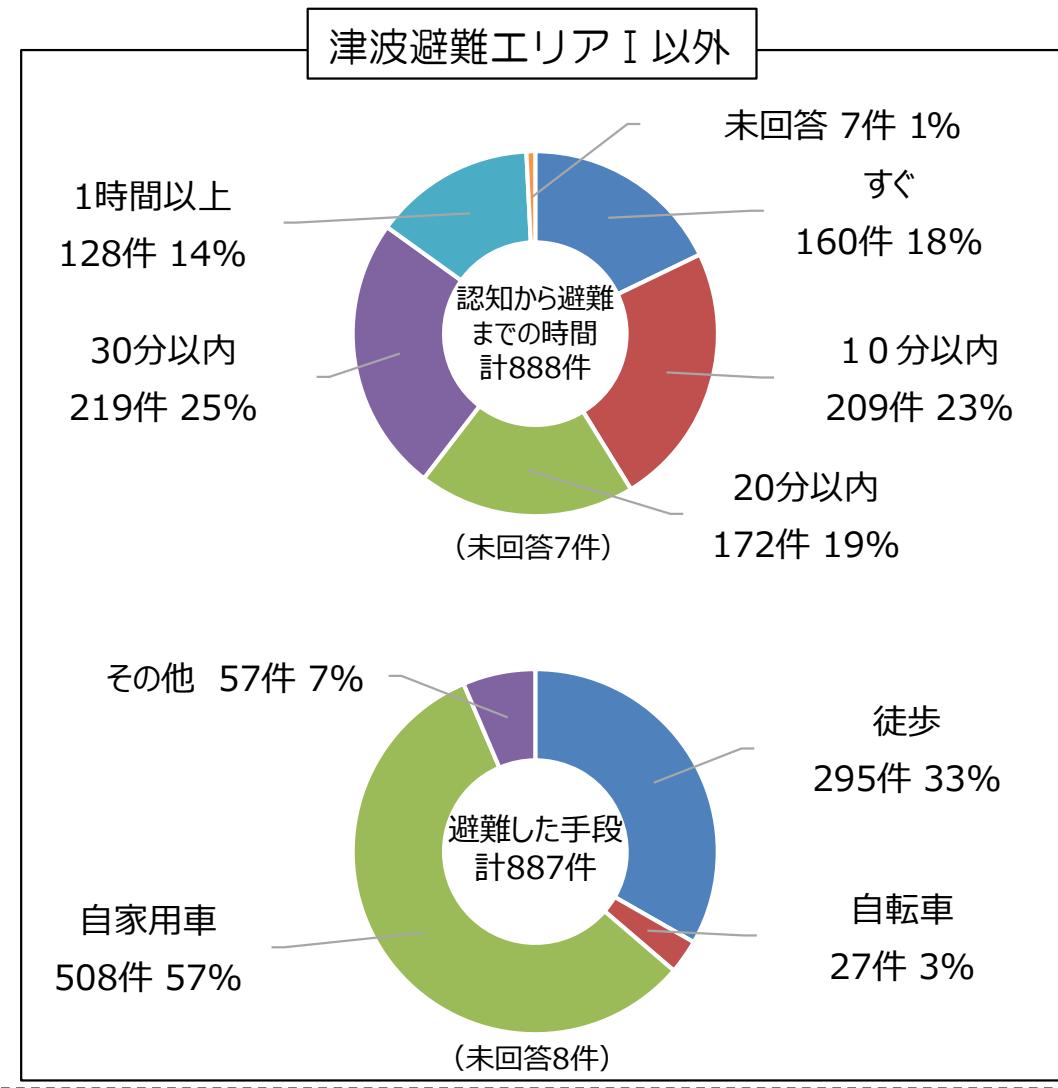
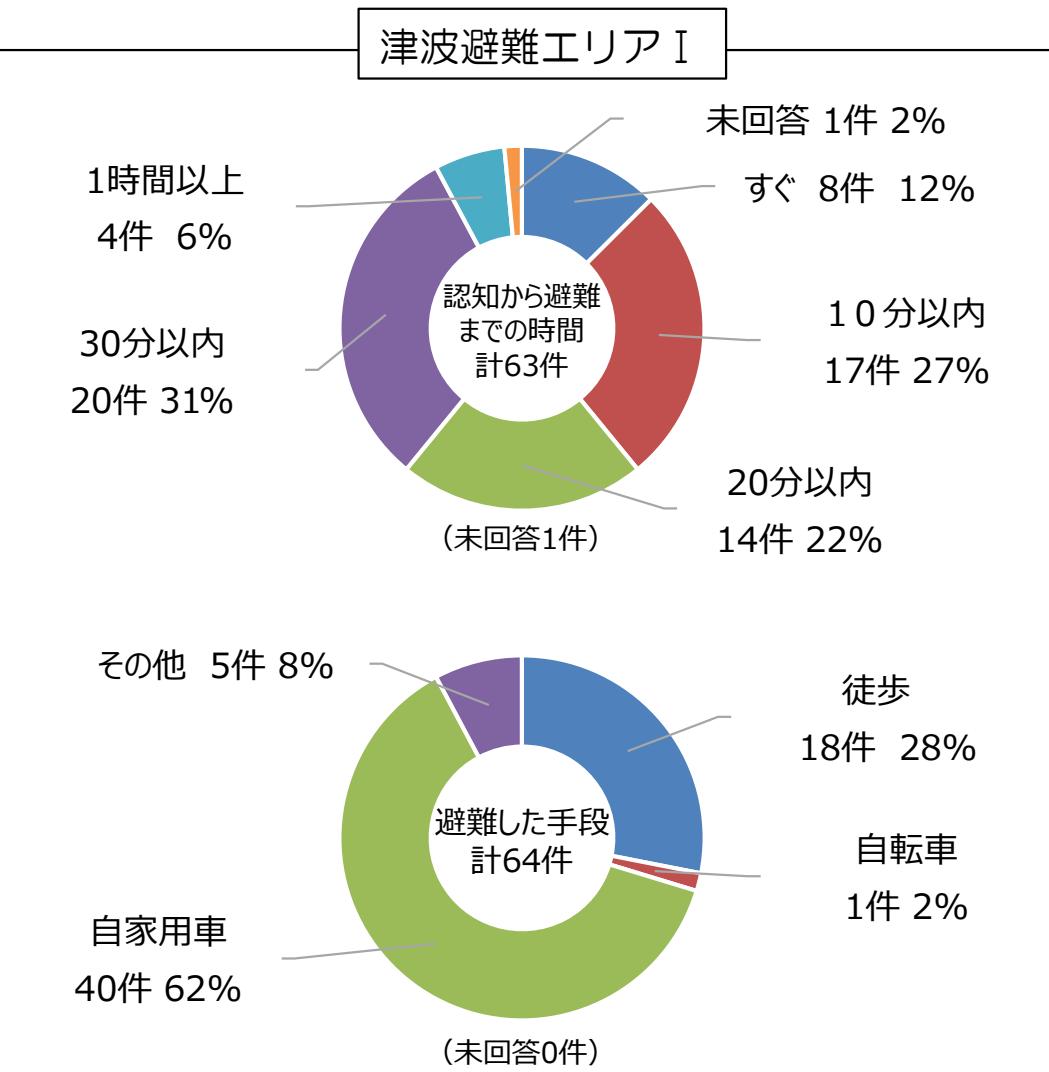
当時の居場所：車内、病院、訪問介護の利用者宅、実習施設、出張先等
一緒にいた人：職場同僚、部活仲間、患者、客等

3. 当時の行動について

避難/件数	避難しなかった	避難した	合計
津波避難エリア I	20 (24%)	64 (76%)	84 (100%)
津波避難エリア I 以外	1,033 (54%)	895 (46%)	1,928 (100%)
合計	1,053 (52%)	959 (48%)	2,012 (100%)



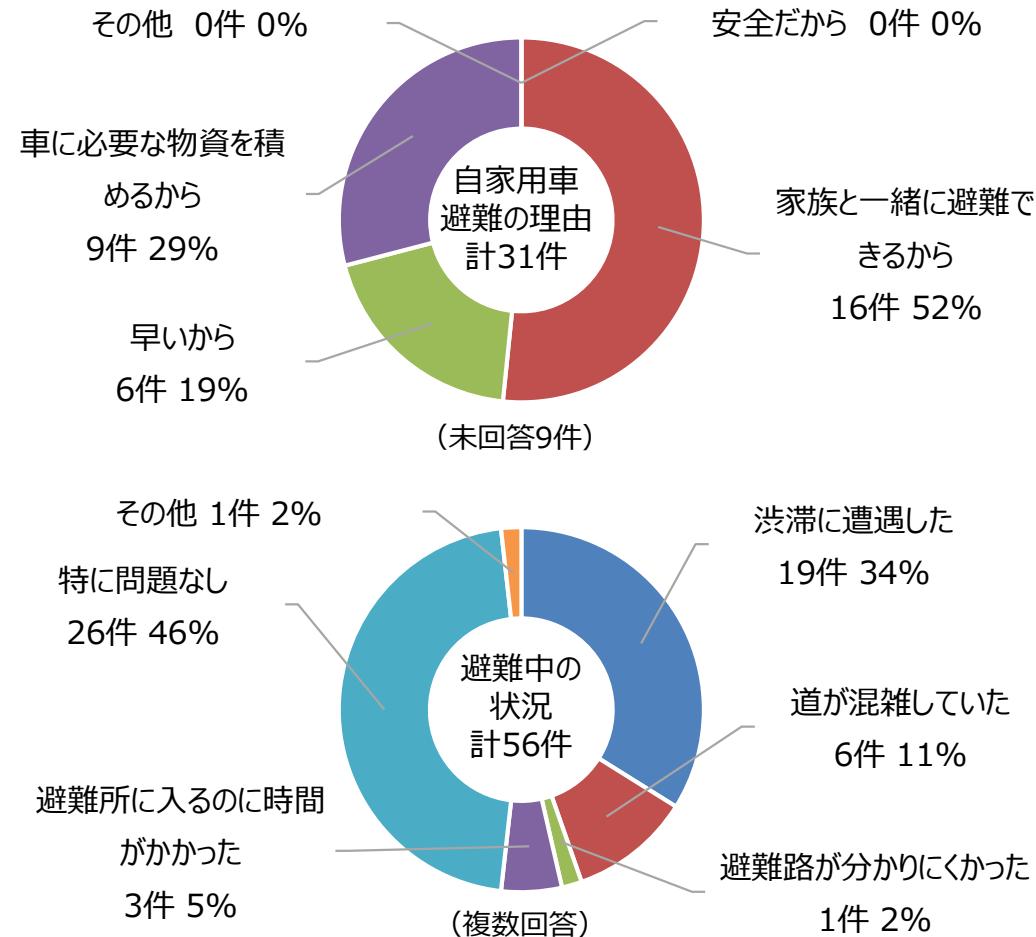
3. 当時の行動について



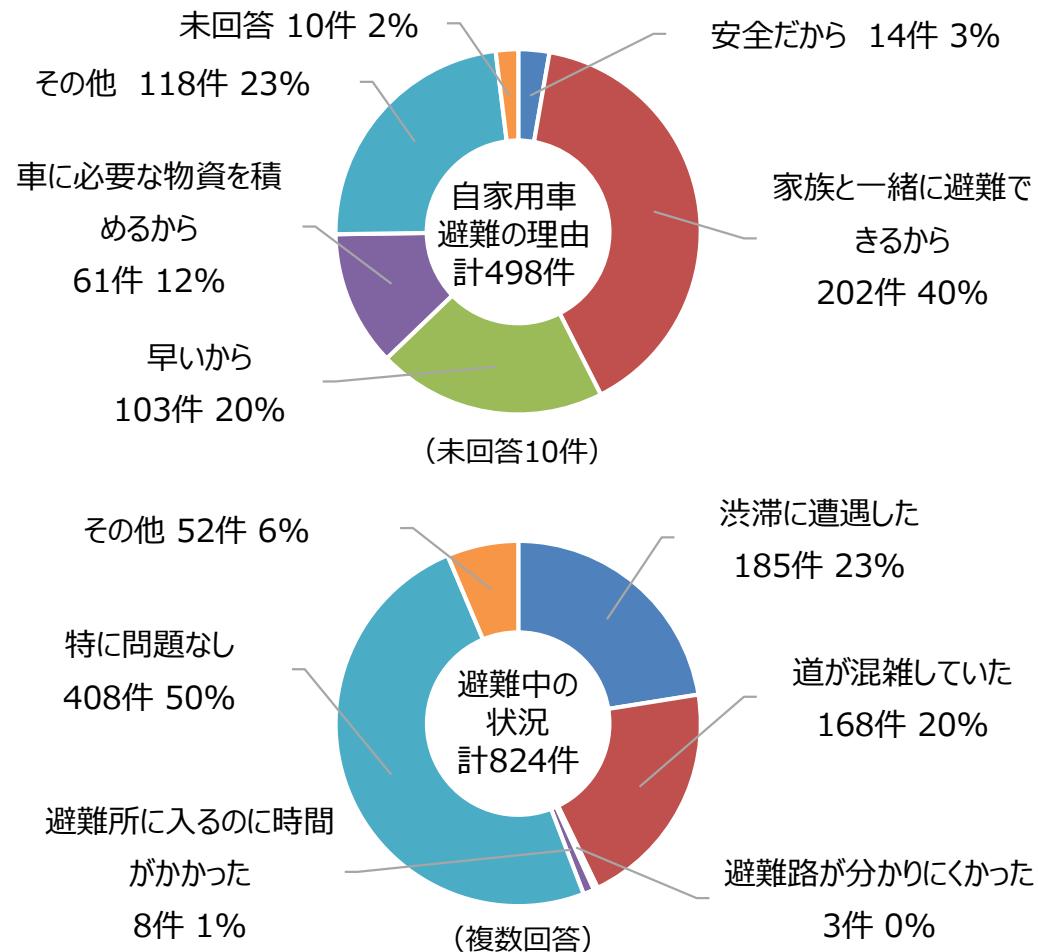
【その他自由記載概要】※全件集計
避難した手段：社用車、友人の車等

3. 当時の行動について

津波避難エリア I



津波避難エリア I 以外

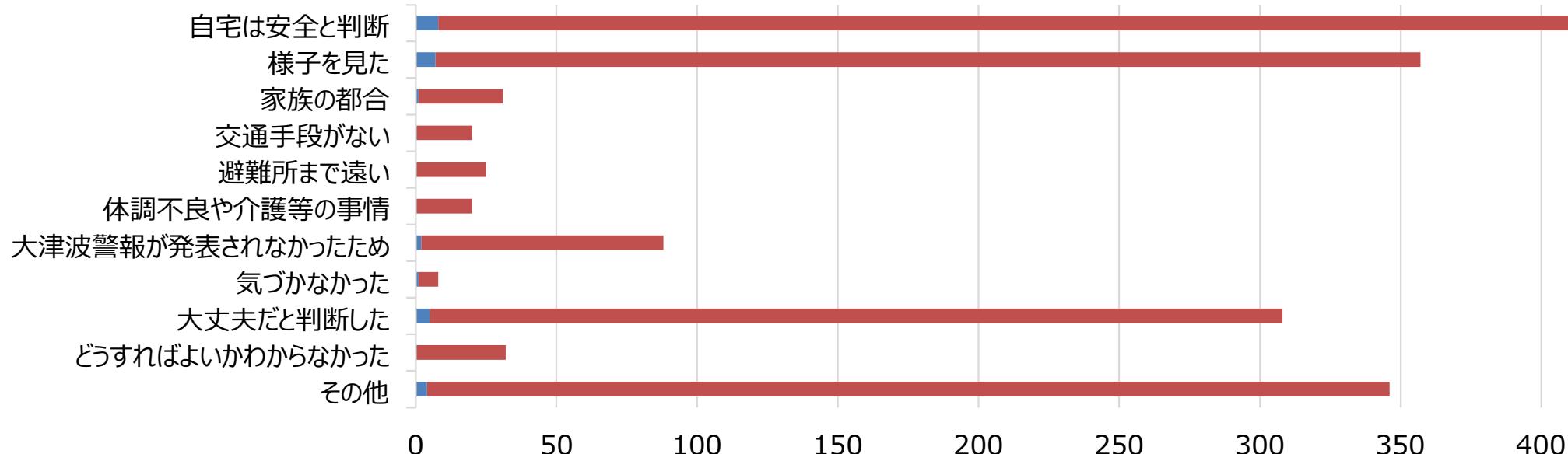


【その他自由記載概要】※全件集計

自家用車避難の理由：外出だったため、職場へ行く必要があったため、障がい者がいるため、子供を迎えに行くため等
避難中の状況：どこに避難して良いのかわからなかった、少し混雑していた、来たばかりでわからなかった等

3. 当時の行動について

避難しなかった理由（複数回答）



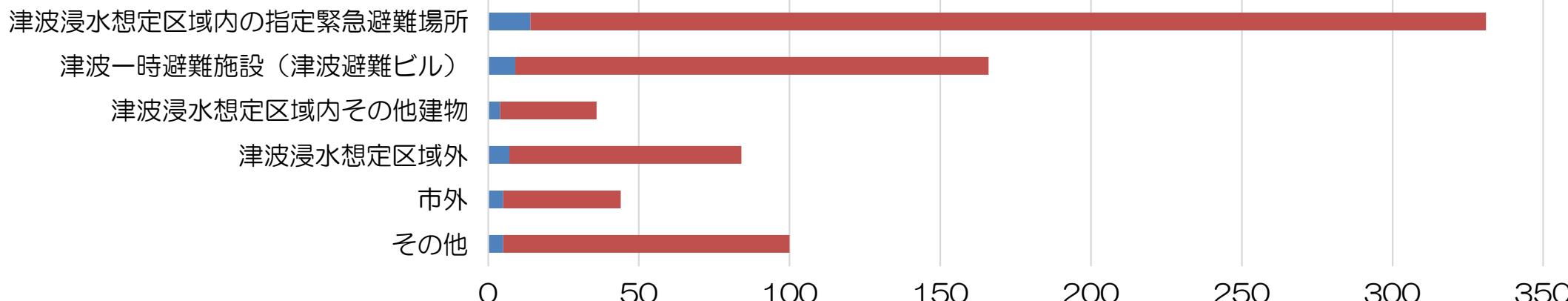
理由/件数	自宅は安全と判断	様子を見た	家族の都合	交通手段がない	避難所まで遠い	体調不良や介護等の事情	大津波警報が発表されなかったため	気づかなかった	大丈夫だと判断した	どうすればよいかわからなかった	その他	合計
■津波避難エリアI	8	7	1	0	0	0	2	1	5	0	4	28
■津波避難エリアI以外	450	350	30	20	25	20	86	7	303	32	342	1,665

【その他自由記載概要】

学校（指定緊急避難場所）にいたため、職場が避難所だったため、職場にいたため、災害対応に回る側だったため、高台の実家にいたため等

4. 避難の状況について

避難した場所



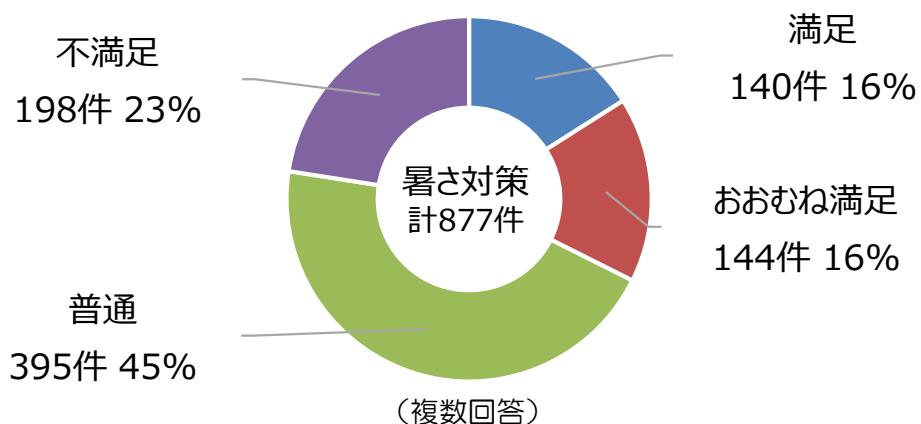
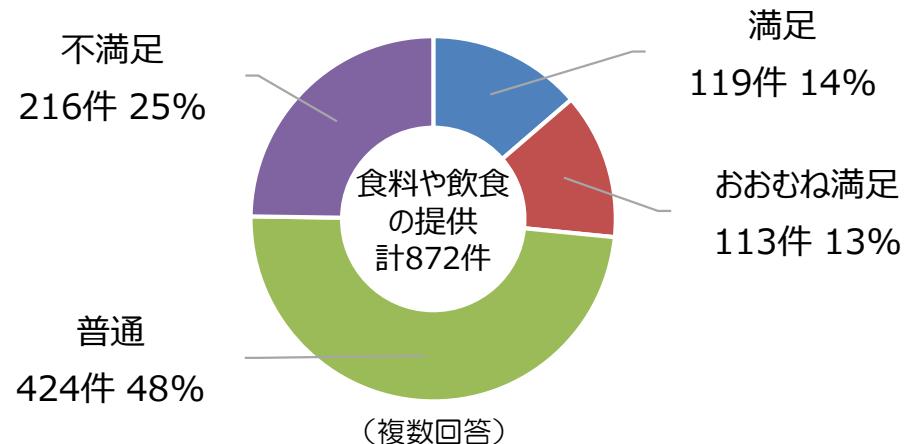
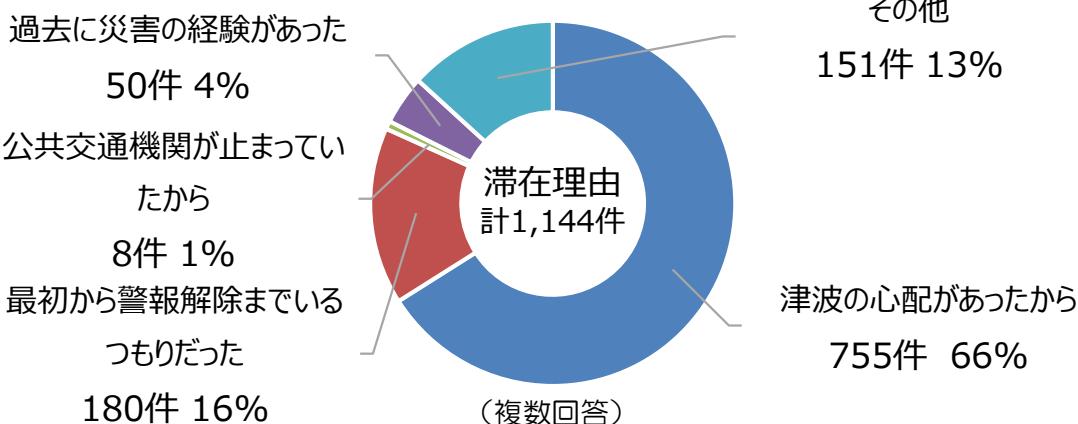
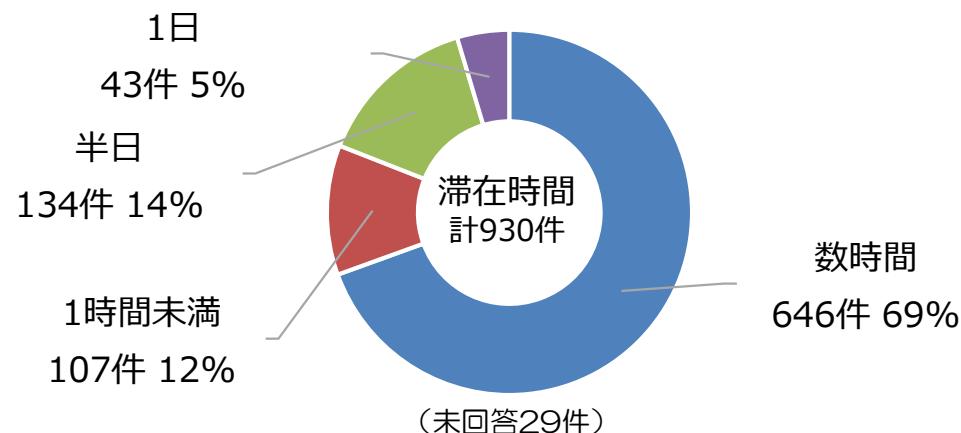
場所/件数	津波浸水想定区域内の地域緊急避難場所 ※1	津波一時避難施設（津波避難ビル）	津波浸水想定区域内のその他建物	津波浸水想定区域外	市外	その他	未回答	合計
■津波避難エリアI	14	9	4	7	5	5	20	64
■津波避難エリアI以外	317	157	32	77	39	95	178	895

※1 『指定緊急避難場所』とは、災害が発生し、又は発生するおそれがある場合にその危険から逃れるための避難場所として、洪水や津波など異常な現象の種類ごとに安全性等の一定の基準を満たす施設又は場所を市が指定したもので、本市は市内小学校・中学校・高校・大学などを指定しています。

【その他自由記載概要】

行っていないので不明、近所の方から連絡をもらったから、市外にいた、仕事場の利用者を避難させる必要があった為、職場の指示のため

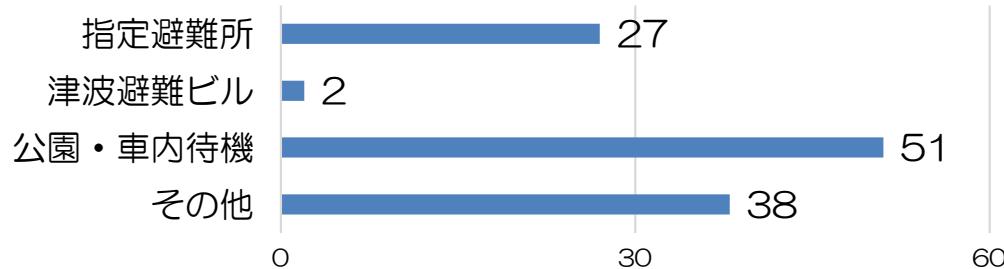
4. 避難の状況について



5. ペット避難について

答え/件数	はい	いいえ	未回答	合計
ペットと一緒に避難しましたか	118 (12%)	780 (81%)	61 (7%)	959 (100%)

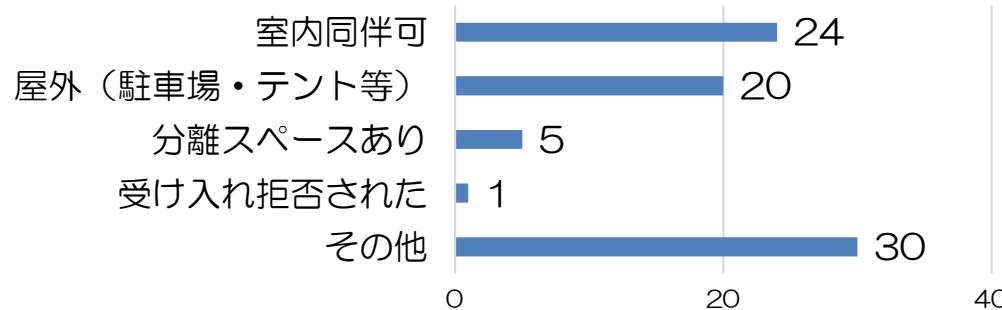
避難した場合の避難先



【その他概要】

親族・知人宅、商業施設、津波が到達しないであろう高い位置の敷地等

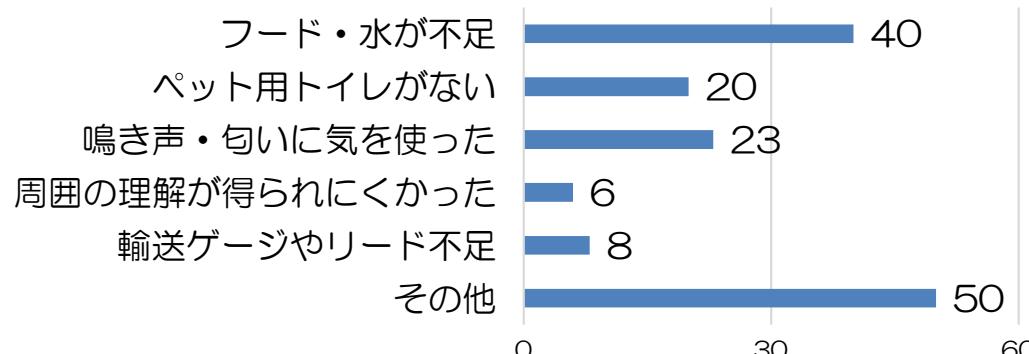
避難先でのペット受け入れ状況



【その他概要】

避難所にいっていない、商業施設屋上、車内、知人宅等

避難所での課題（複数回答）

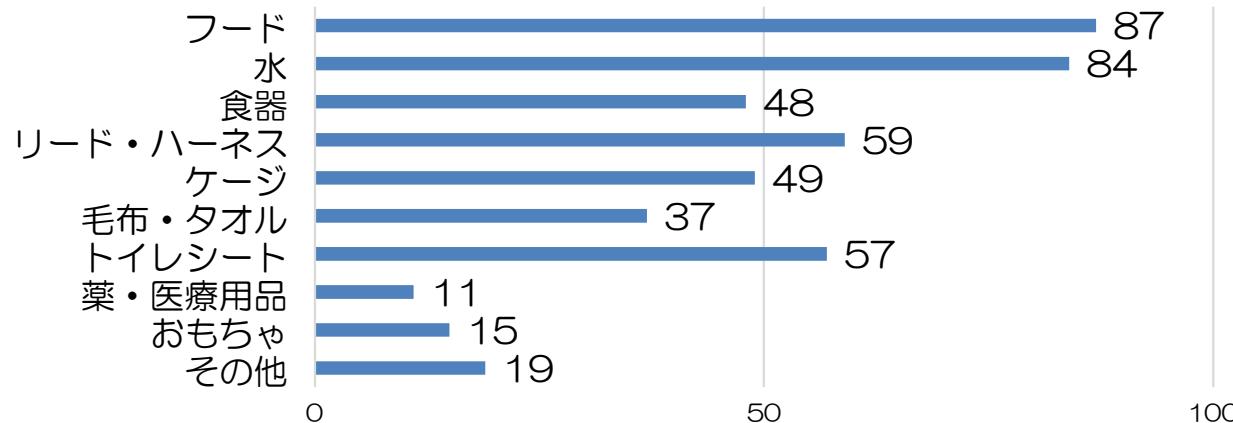


【その他概要】

避難先が避難所ではなかった、暑さ寒さ対策、変温動物のためライトがなくて困った、あまり知らない小動物なので余計に神経を使う、犬と猫を分けてほしい等

5. ペット避難について

避難時に持参したペット関連物品（複数回答）



【その他概要】

避難先が避難所ではなかった、暑さ寒さ対策、変温動物のためライトが無くて困った、あまり知らない小動物なので余計に神経を使う、犬と猫を分けてほしい等

持参できなかったが必要と感じたもの

回答件数：43件

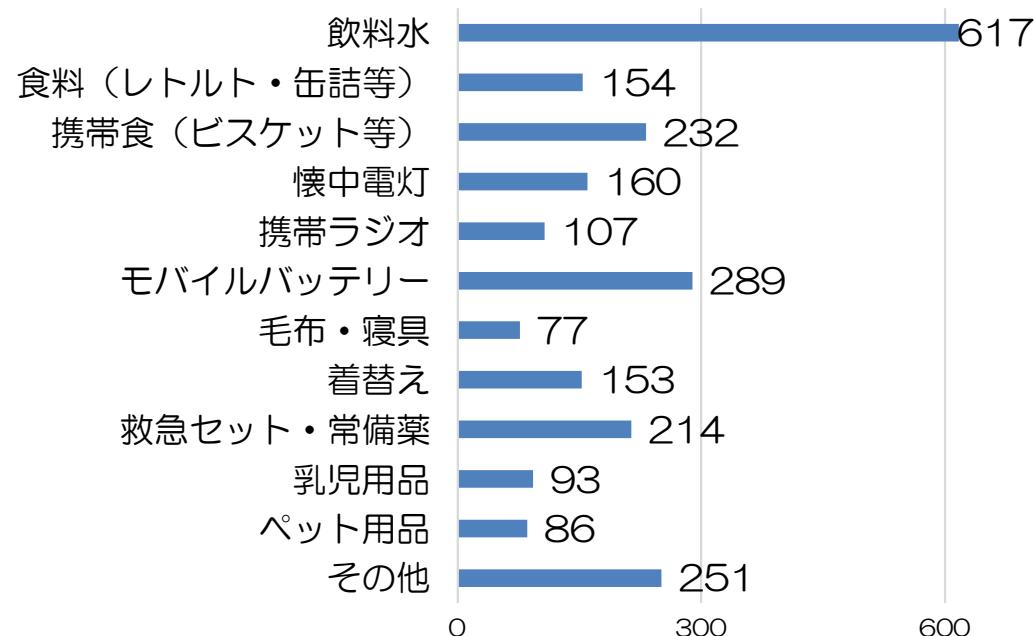
【自由記載概要】

水・フード、食器、リード・ハーネス、ケージ・クレート、毛布・タオル
トイレシート、おもちゃ、暑さ対策等



6. 非常用持ち出し品について

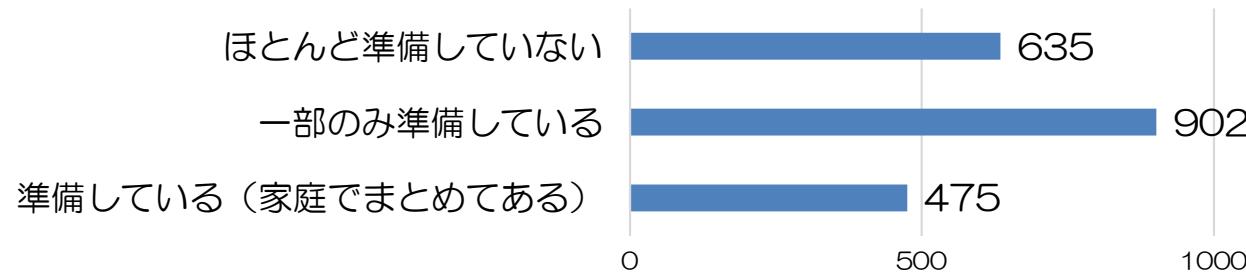
避難の際に持参した物品（複数回答）



持参できなかったが必要と感じたもの（自由記載）

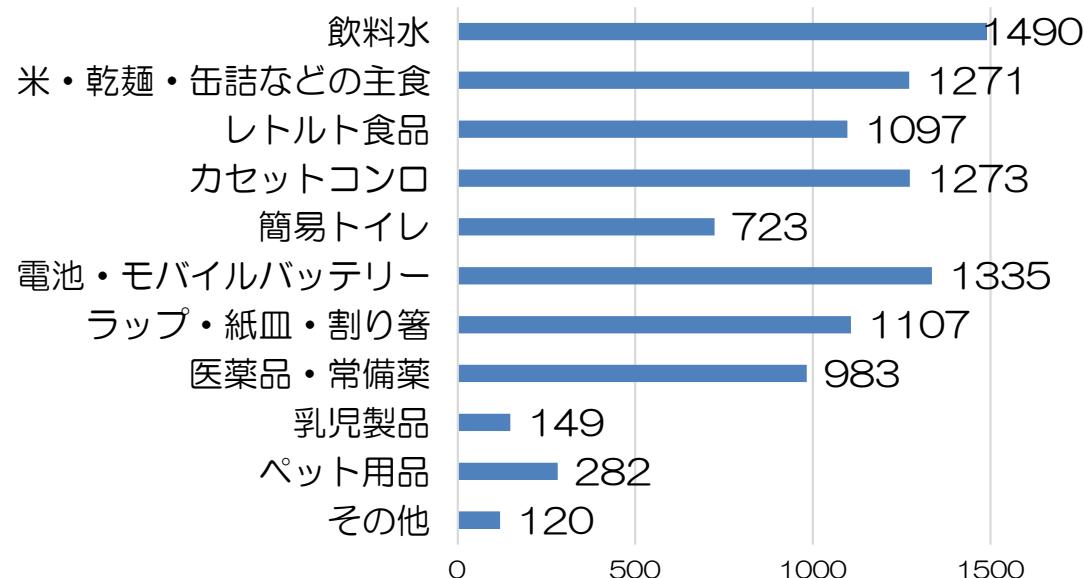
- ・食料品等（飲料水、食料、お菓子、使い捨て食器類等）
- ・避難用品（懐中電灯、非常用リュック）
- ・情報収集用品（携帯ラジオ、PC、アナログ時計、モバイルバッテリー、イヤホン、新聞、本等）
- ・暑さ寒さ対策（上着、ひざ掛け、雨具、日傘、アルミシート、うちわ、扇風機、保温ボトル等）
- ・貴重品（通帳、印鑑、お金、緊急連絡先メモ等）
- ・衛生用品（簡易トイレ、マスク、ティッシュペーパー、ウエットティッシュ、口腔ケア用品、救急セット、常備薬、体拭きシート、ドライシャンプー、生理用品等）
- ・生活用品（毛布、寝具、敷物、携帯イス、座布団、タオル類、スリッパ、靴、着替え、メガネ、筆記用具等）
- ・乳児用品（オムツ・ミルク・哺乳瓶・抱っこ紐等）
- ・子どもの気を紛らわせるもの（本・おもちゃ・ゲーム等）
- ・ペット用品（フード、食器、おもちゃ等）
- ・その他（目隠し用テントや布、簡易テント、耳栓、ヘルプマーク、ガスコンロ、ガスボンベ）

普段から非常用持ち出し品を準備しているか



7. 日頃の備えについて

ご家庭で備蓄しているもの（複数回答）



【その他概要】

防寒対策、貴重品、照明器具、衛生用品、携帯ラジオ、発電機、蓄電器等

ほとんど備蓄していない
479件 24%

2週間以上
58件 3%

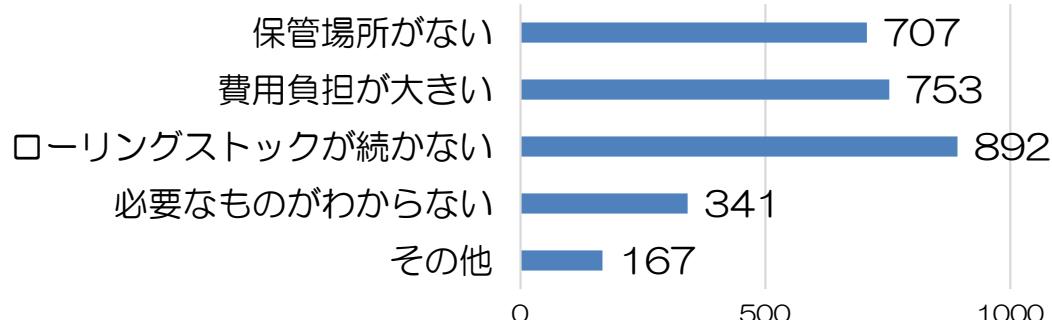
1週間分程度
344件 17%

家庭内
備蓄量
計2,012件

3日分程度
1131件 56%



備蓄に関して不安に思うこと（複数回答）



【その他概要】

重くて持ち運べない、保管場所がバラバラ、足りるのか不安等

していない
906件 46%

WEBで確認している
301件 15%

防災ハンドブックの内容把握
計1,960件

している
753件 39%

(未回答52件)



8. 自由記述 ※回答総数：約800件（重複・空欄除く）

全体概要（主なテーマの分類とその概要）

- ① 避難情報・伝達手段への不満
 - ・防災無線が聞き取れない、放送が反響する、多重伝達手段が必要
- ② 避難行動・交通渋滞への課題
 - ・車避難による渋滞、徒步ルート不明確、誘導体制の整備を要望
- ③ 避難所運営・環境改善への要望
 - ・ペット、高齢者、トイレ、暑さ対策など環境改善が必要
- ④ 行政・地域連携への期待と提案
 - ・職員対応への評価はありつつも初動の遅れの指摘、
町内会（自主防災組織）連携への期待

9. 今後の課題

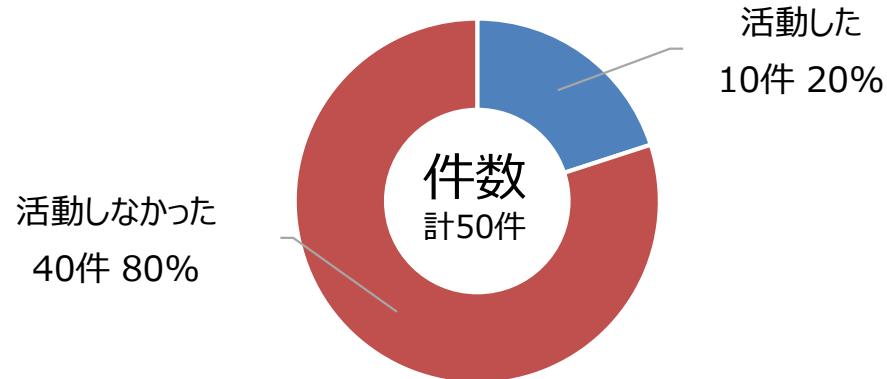
- ① 情報伝達の多重化（FM・スマホ・LINE通知など）
- ② 避難行動支援（車使用制限・徒步避難促進）
- ③ 避難所環境整備（ペット・高齢者対応）
- ④ 地域防災力の底上げ（町内会との連携）

②町内会（自主防災組織）向け
アンケート調査結果

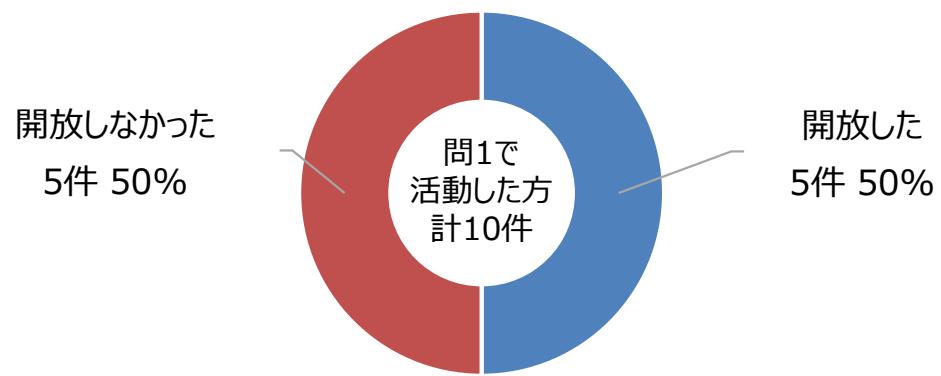


②町内会（自主防災組織）向けアンケート

1.町内会（自主防災組織）として活動しましたか



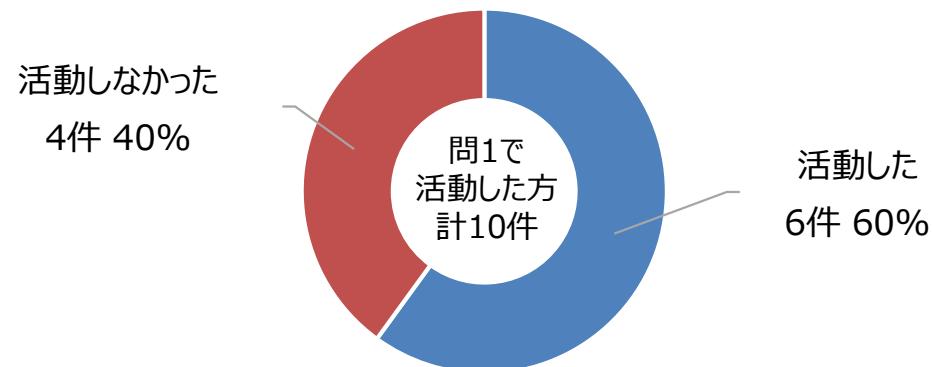
2.町内会館等を避難所として開設しましたか



【活動しなかった理由自由記載概要】

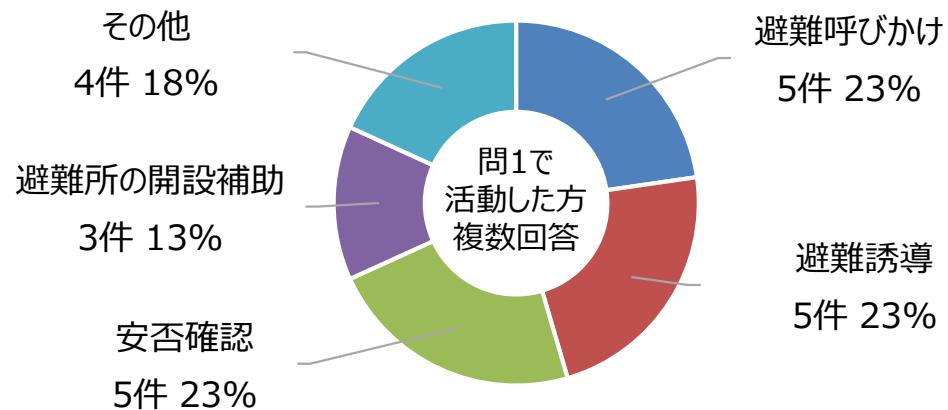
避難指示区域ではないため、勤務中など役員不在のため、防災組織が確立していないため、警報を知ったのが遅かったため、会長が会館で待機したが誰も避難してこなかったため等

3.町内会（自主防災組織）として避難所（学校）で活動しましたか

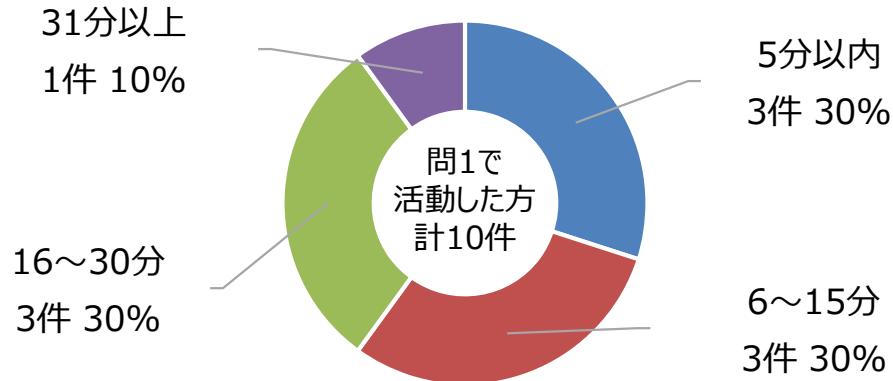


②町内会（自主防災組織）向けアンケート

4. 実施した活動



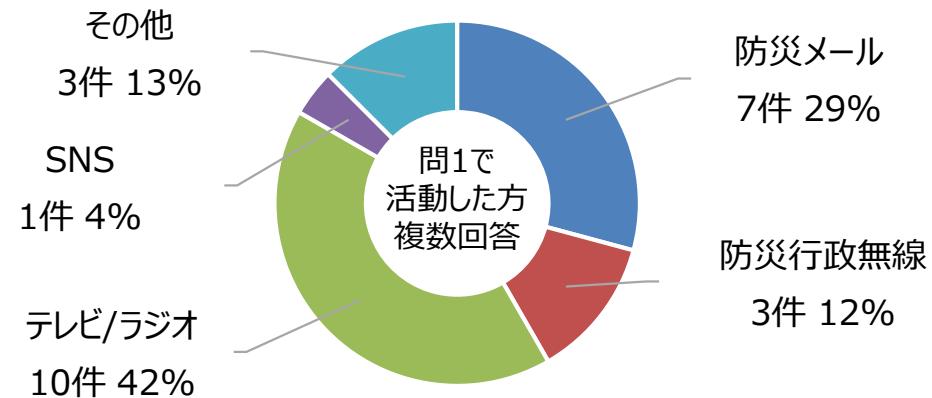
5. 警報発表から活動開始までに要した時間



【その他自由記載】

避難車両誘導、昼食（アルファ化米）の提供、飲料水の提供、様子見

6. 警報や避難情報を知った方法

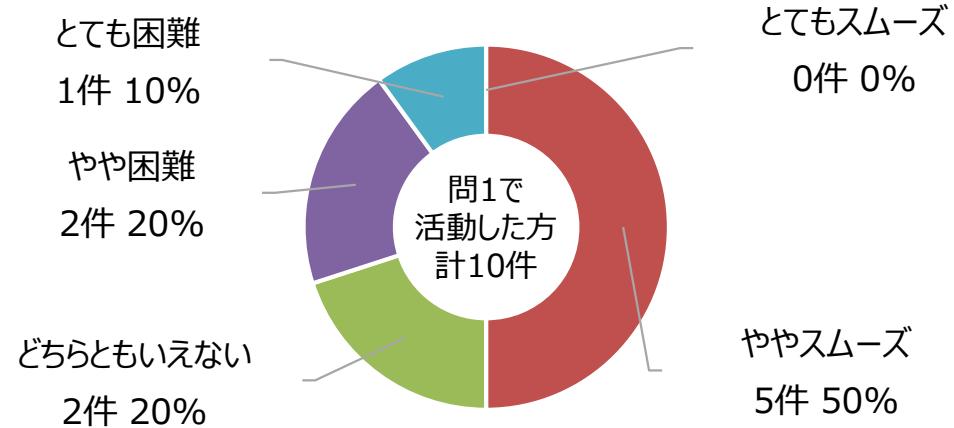


【その他自由記載】

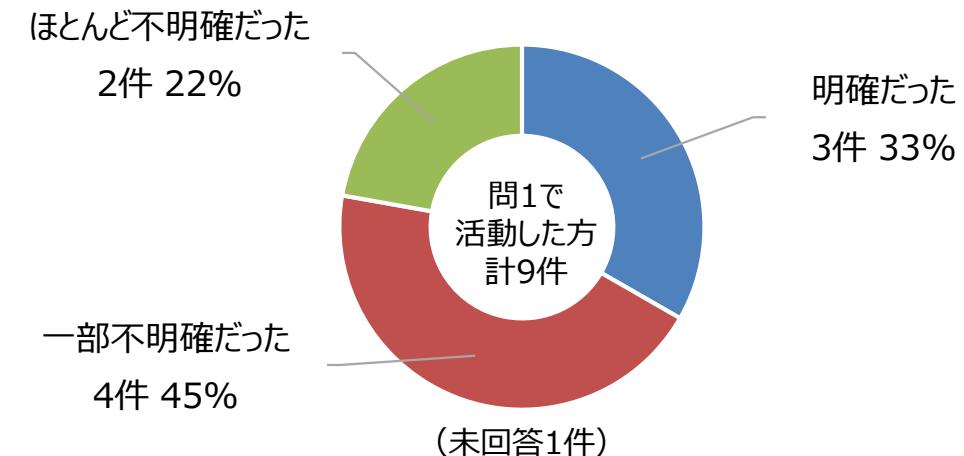
身内からの電話、防災メール受信後会館のテレビにて状況確認、市の広報車

②町内会（自主防災組織）向けアンケート

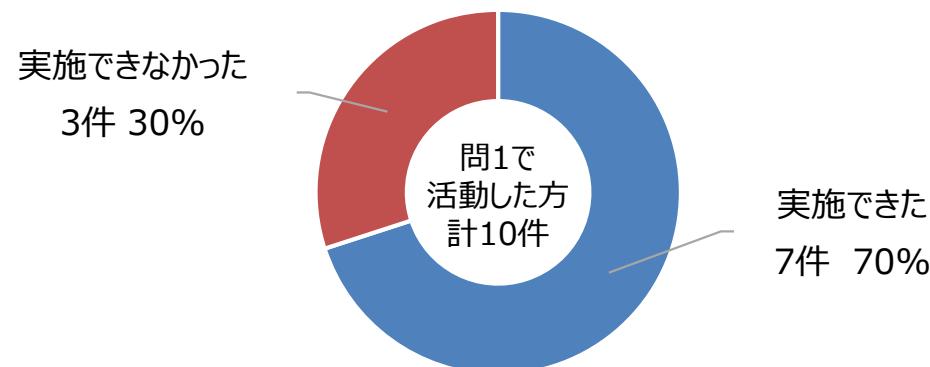
7.組織内での情報共有のスムーズさ



8.活動時の役割分担の明確さ



9.要配慮者支援（高齢者、障がい者、乳幼児等）

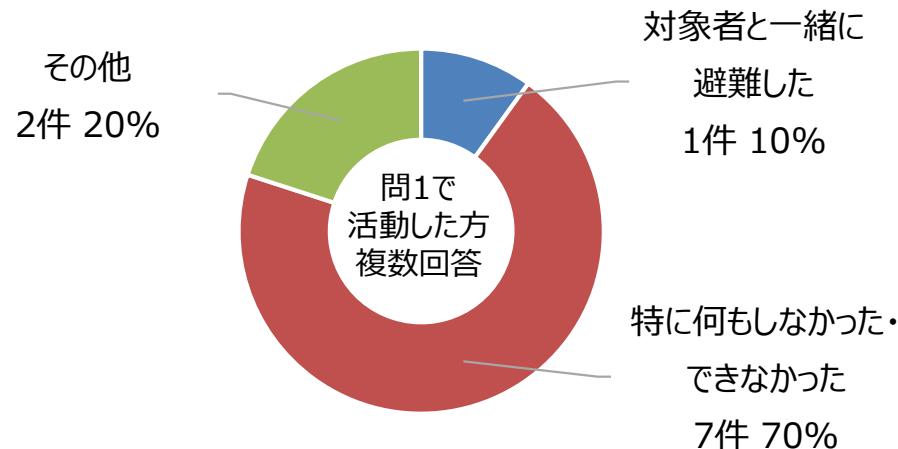


【ほとんど不明確だった理由】
 • 参加できた役員が少ない
 • 活用内容がそれほどのものではなかったため

【実施できた理由】
 • 会館には子供たちだけだったので、まとまって行動できた
 • 役員が集まれなかったので、一部対応のみ
 • 高齢者のため家にいるよう伝えた
 • 糸井小学校内での2階、3階への移動協力
 • 個人的に何人かの人たちと連絡を取り合った
 • 障がい者を避難させた

【実施できなかった理由】
 • 人数不足でできなかった
 • 該当者がいなかった

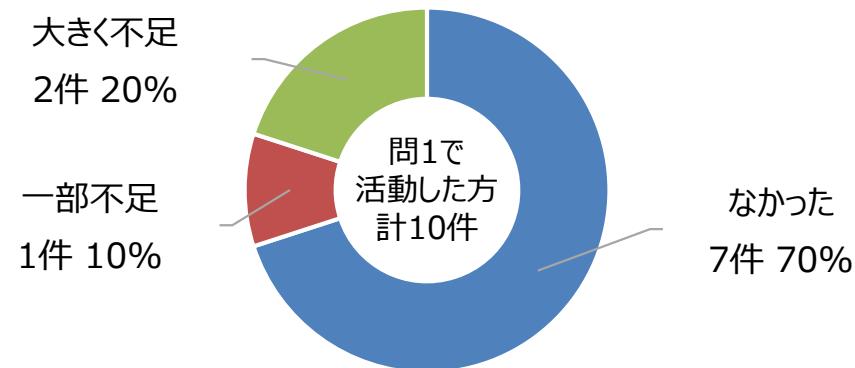
10.避難行動要支援者名簿の活用



【その他自由記載】

- ・近所の人（役員以外）が自主的に知人の要配慮者とともに避難

11.必要な物資の不足



【不足品自由記載】

- ・何も準備されていなかった
- ・自動車避難された方々へのトイレ、飲み物、暑さ対策、テント必要か
- ・食料、除菌対策も配布時にあるとよかったです？

12.車の渋滞や混雑の影響

【自由記述概要】

・地域内では影響なし	8件
・大規模渋滞（幹線・主要道路）	15件
・避難行動の混乱・誘導対応	2件
・その他の交通・避難関連	3件

13. 自由記述 ※回答総数：31件

全体概要（主なテーマの分類とその概要）

- ① 避難情報・伝達手段への不満
 - ・防災無線が聞き取れない、正確な情報の不足、避難指示発令の遅さとわかりにくさ
- ② 避難行動・交通渋滞への課題
 - ・避難所内で町内会毎の区分要望、市所有地等の解放要請
- ③ 避難所運営・環境改善への要望
 - ・避難所開設時の町内会への協力要請の有無、避難所の暑さ対策要望
- ④ 町内会の人手不足に伴う対応困難
 - ・町内会の加入率の低下および高齢化による対応困難、役員が勤務しており対応困難
- ⑤ 町内会（自主防災組織）の防災力向上
 - ・日頃からの役割分担の取り決めや防災訓練、備蓄品整備の必要性

14. 今後の課題

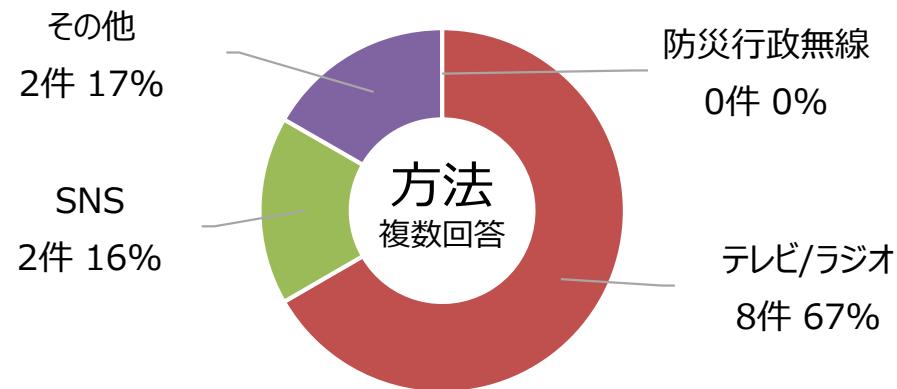
- ① 市と町内会（自主防災組織）との情報連携強化
- ② 避難所環境と運営体制の整備
- ③ 町内会（自主防災組織）内の情報共有と伝達手段の確立
- ④ 町内会（自主防災組織）の防災力の底上げ（防災訓練等）

③津波一時避難施設等向け
アンケート調査結果



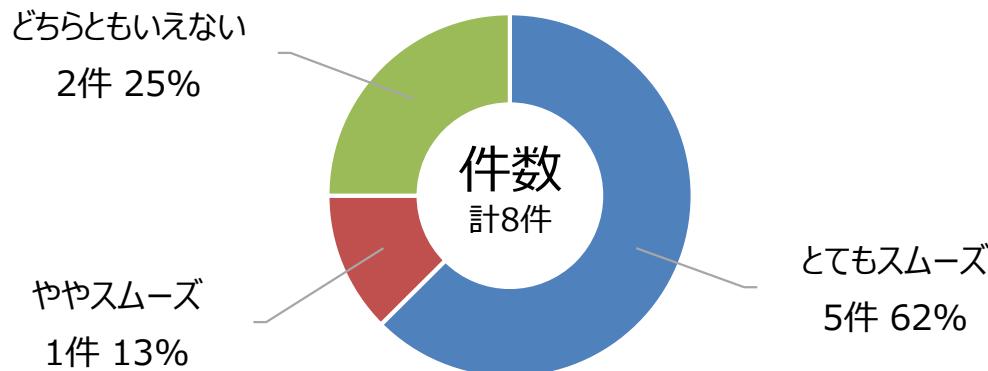
③津波一時避難施設等向けアンケート

1.警報発表や避難指示発令を知った方法

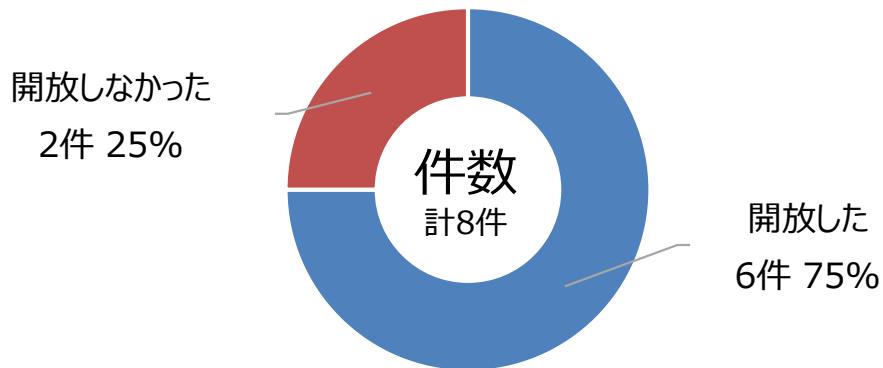


【その他自由記述概要】
携帯電話の緊急速報通知 2件

3.鍵開放・入館管理はスムーズに行えましたか



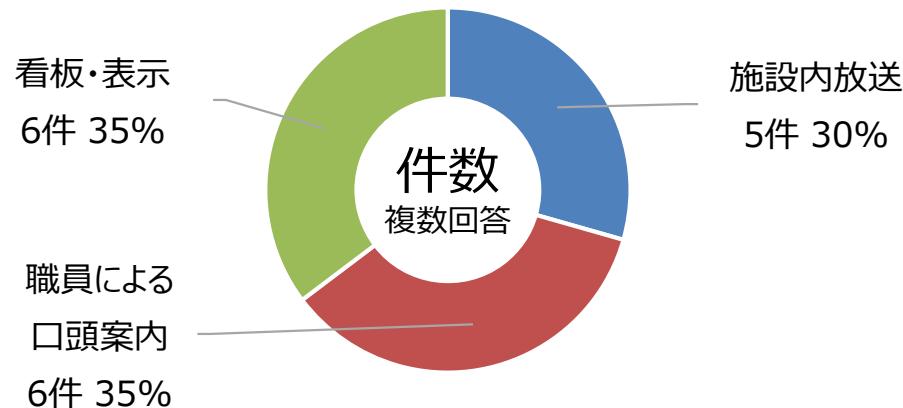
2.当日、協定に基づき津波一時避難施設等として開放しましたか



【開放できなかった理由自由記述】

- 施設の一時使用の要請がなかったため。開放した認識はないが避難指定場所の3～5階の共用部は施錠されていないため避難指示発令時に使用可能な状態ではあった。
- 市から施設の一時使用の要請がなかったため

4.案内・誘導はどのように行いましたか



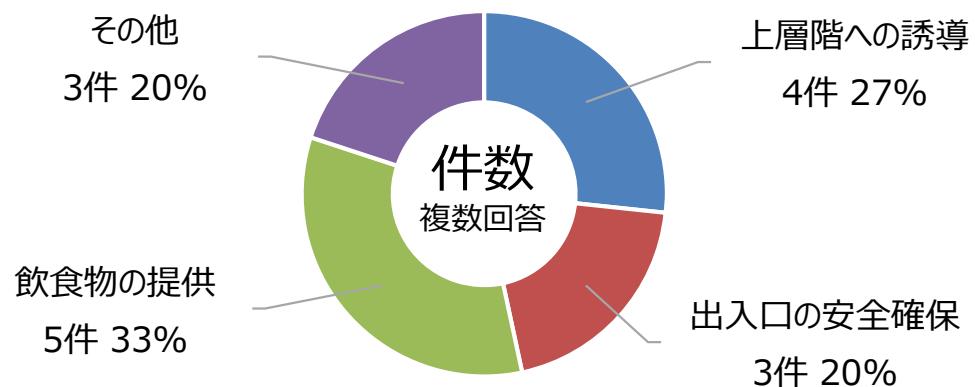
③津波一時避難施設等向けアンケート

5.開館時間（おおよそ時間）

【自由記述】

9:40~21:00 2件
9:30~13:00 1件
9:50~15:10 1件
10:00~16:00 1件
10:00~16:30 1件

7.避難者のために実施したこと



【飲食物の提供についての詳細自由記述概要】
飲料水・ビスケット等の非常食の提供 3件
給水所を用意 1件、水の提供 1件

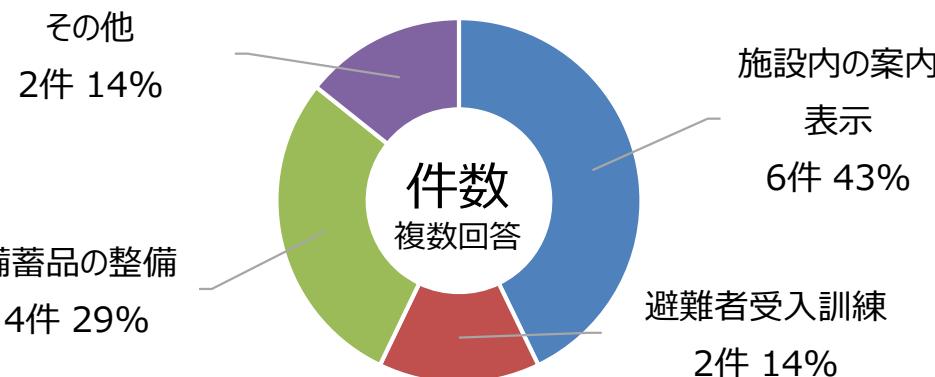
【その他自由記載】
会議室モニターにおいてYouTubeニュース放映での情報提供 1件

6.避難者数（最大人数とそのおおよそ時間）

【自由記述】

2200人 10:30
230人 11:20
140人 11:30
110人 11:30
100人 15:00
15人 10:10

8.入館者のために平時から行っていること



【備蓄品の整備についての詳細自由記述概要】
3日分の非常食管理 1件
飲料ペット、乾パン・ビスケット等の非常食、毛布・カイロ等防寒用品、
救急セット 2件
食料1日分、毛布セット・トイレセット各200セット 1件

【その他自由記述】
社員を対象とした避難訓練を実施 2件

9. 自由記述 ※回答総数：6件

全体概要（主なテーマの分類とその概要）

- ① 市との情報共有・連絡体制の不足
 - ・市からの開設要請有無および解除のタイミングが不明確
- ② 避難者の受入対応業務（人数把握・案内・対応基準）の不明確さ
 - ・避難者の名前や人数をどこまで把握すべきか不明
- ③ 備蓄・設備・平時の体制整備の不足
 - ・市防災ラジオや避難者向けの備蓄品提供希望（飲料・簡易トイレ）
- ④ 避難者への帰宅および指定避難所への誘導方法の確認
 - ・避難者が施設から帰宅途中に被災した場合の責任の所在確認。施設から指定避難所への誘導のタイミングおよび移動困難者への対応相談

10. 今後の課題

- ① 市と協定先の情報連携の強化
- ② 避難者受け入れ時のマニュアル等の整備
- ③ 避難所環境整備（市防災ラジオ・備蓄品等）
- ④ 避難所開設や解除の基準の明確化

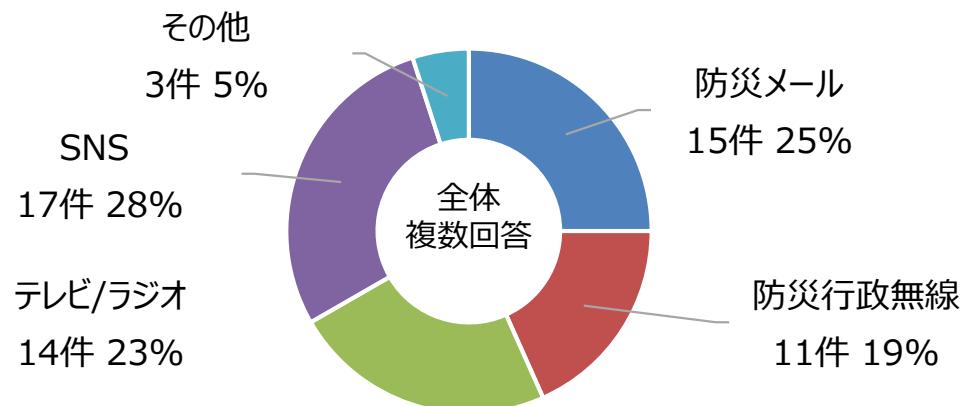
④公共施設向け
アンケート調査結果



とまチヨップ
TOMAKOMAI CITY

④公共施設向けアンケート

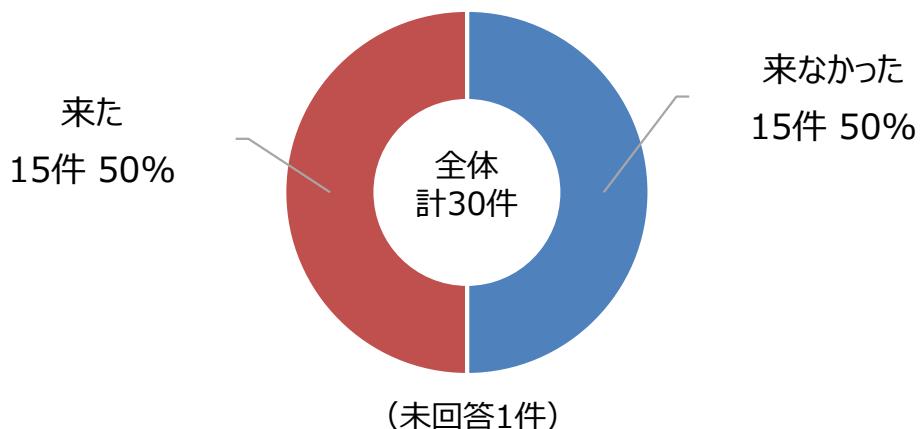
1. 津波警報の認知について



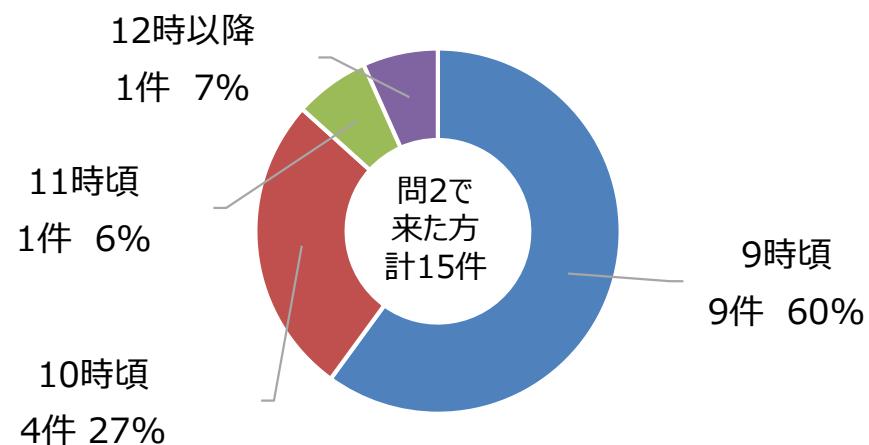
【その他自由記載概要】

事務所からの指示、所属長からの指示、同僚からの情報

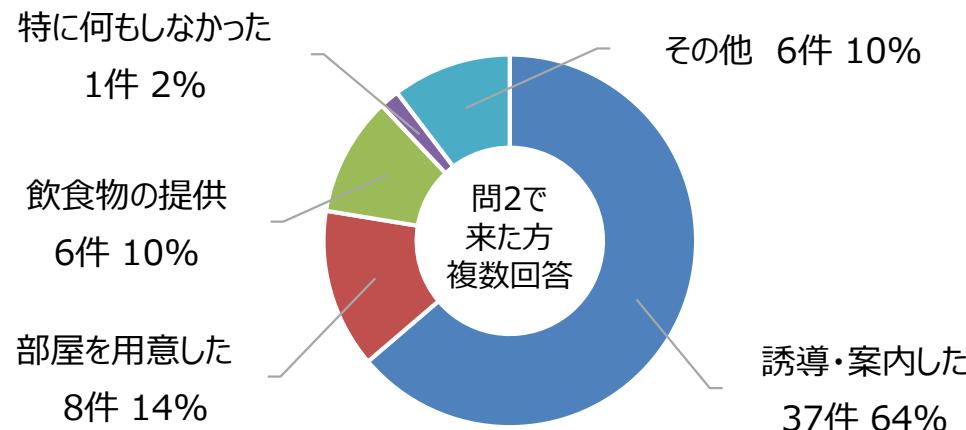
2. 当日避難者が来たか



3. 避難者が来た時間



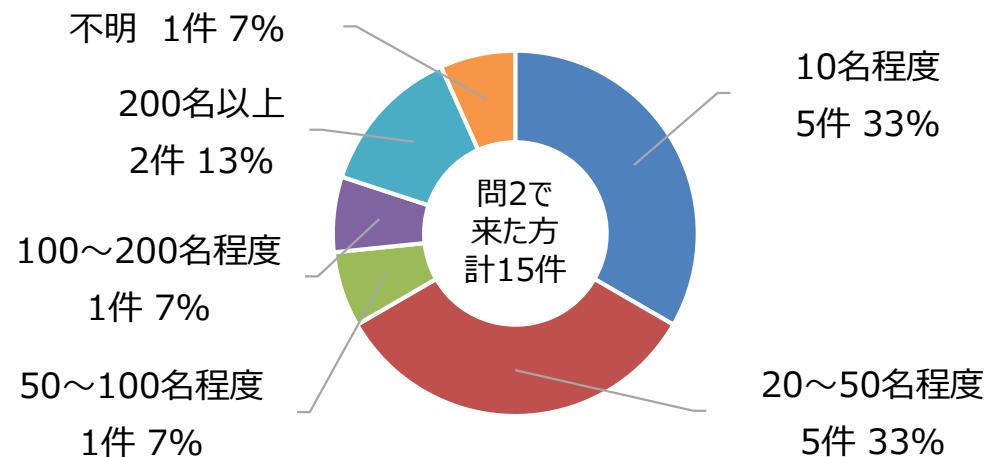
4. 避難者への対応



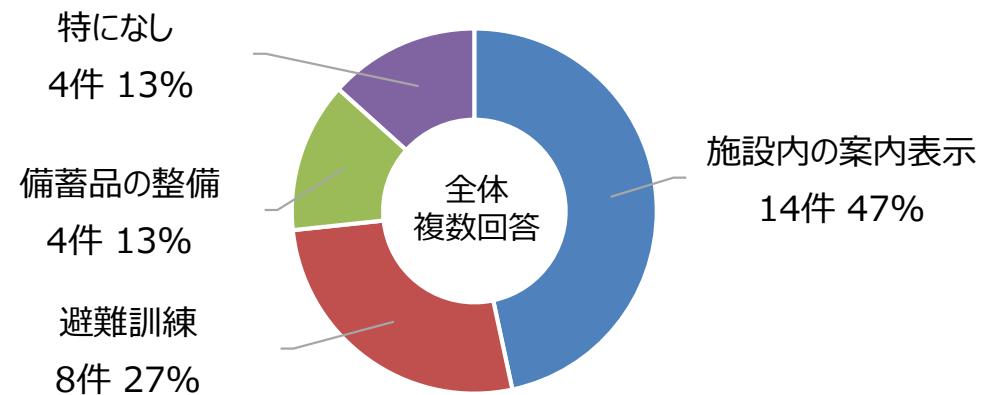
【その他自由記載概要】※全件集計

- ・避難者名簿を作成し、氏名・住所・電話番号等を記入してもらった
- ・避難場所ではないので食事の提供ができないことをお伝えした
- ・誰でも自由に使える「ふれあいルーム」にご案内し、テレビを津波情報にあわせた
- ・YouTubeのライブ放送を放映、FMとまこまいを放送
- ・高齢者を自宅及び東小学校へ移送
- ・2階展望ロビーを待機場所として無料開放した
- ・駐車場での車両内待機、徒歩及び自転車での避難者に会議室の利用提供、トイレの利用、水道水の提供

5. 避難者数（最大）



6. 平時から行っていること



【備蓄品自由記載概要】

水、乾パンなど飲食料（おにぎり、パン）、簡易ベッド、毛布

7. 自由記述 ※回答総数：約21件

全体概要（主なテーマの分類とその概要）

- ①避難判断・避難行動に関する課題
 - ・津波一時避難時の連絡体制が不明瞭
- ②庁内・施設間の連携の不明確さ
 - ・小学校等と市との連絡役の不在
- ③情報提供の遅さ・不足
 - ・避難先で情報待ちの状態
- ④職員体制・人手不足
 - ・小規模施設は人員不足で対応限界
- ⑤避難所・学校側との調整問題
 - ・学校と施設で避難方針が一致していない

8. 今後の課題

- ①連絡・情報伝達の仕組みの強化
- ②避難者対応の標準ルールを策定する
- ③施設規模に応じた避難対応体制の整備

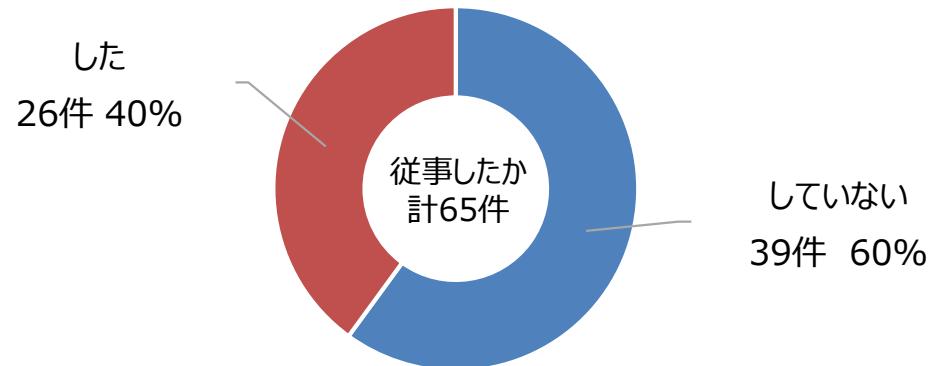
⑤庁内部局向け アンケート調査結果



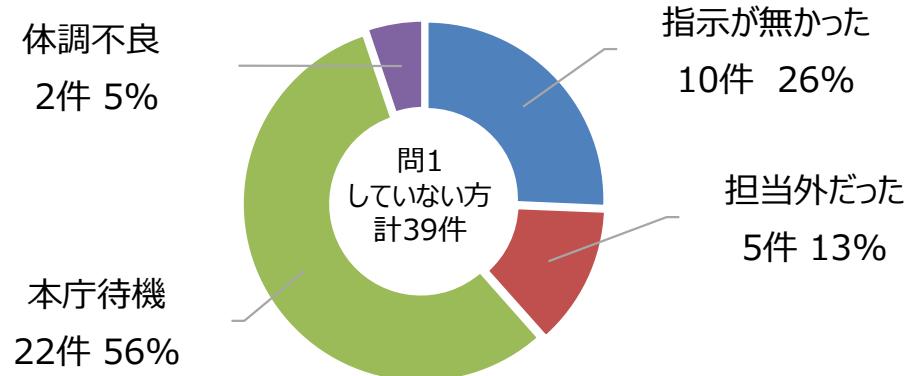
とまチヨップ
TOMAKOMAI CITY

⑤庁内部局向けアンケート

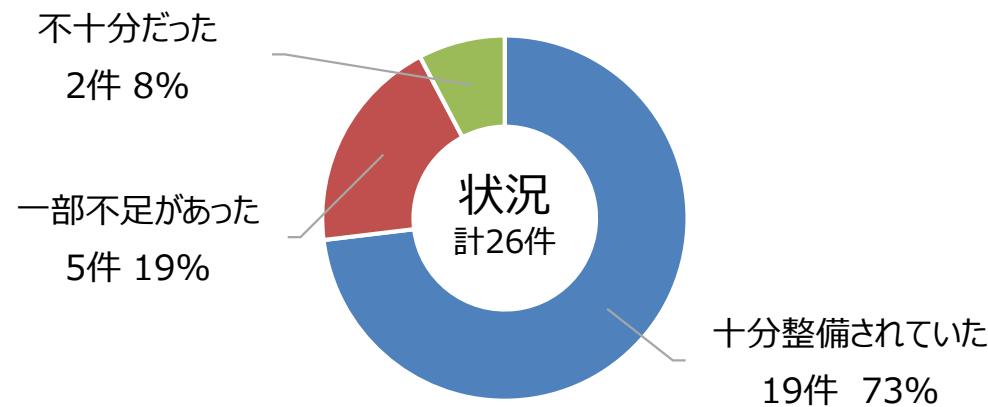
1. 避難所や現地対応について



2. 対応していない理由



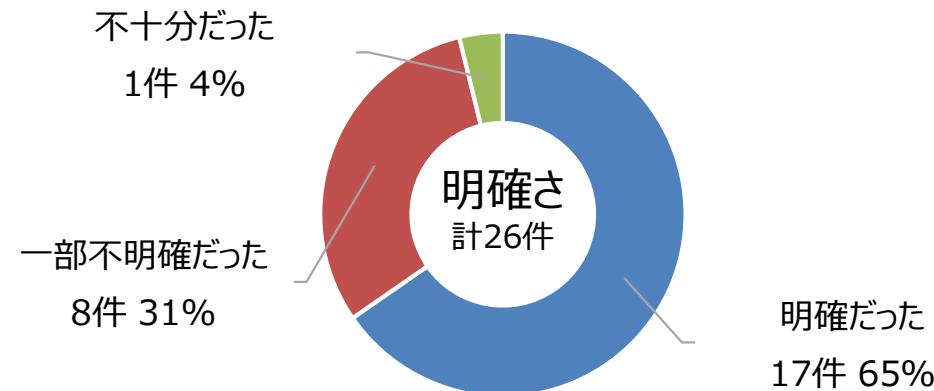
3. 庁内連絡体制の整備状況



【その理由自由記載概要】

- ・ラインやロゴチャット等で適宜連絡を取れる状況であったため
- ・本庁へ避難してきた方の誘導や、1階職員の上階への避難の連絡がなく対応にちょっとした遅れがあったと記憶している
- ・避難所巡回の状況や、本部での決定状況が庁内外にいてもロゴチャットで把握できる状況だったのは良かった
- ・元々あったトーカルームを利用したため、常に情報が書き込まれる状況で、質問と回答が離れてしまうこともあり、避難所等への対応が長引いたら使いにくさを感じた

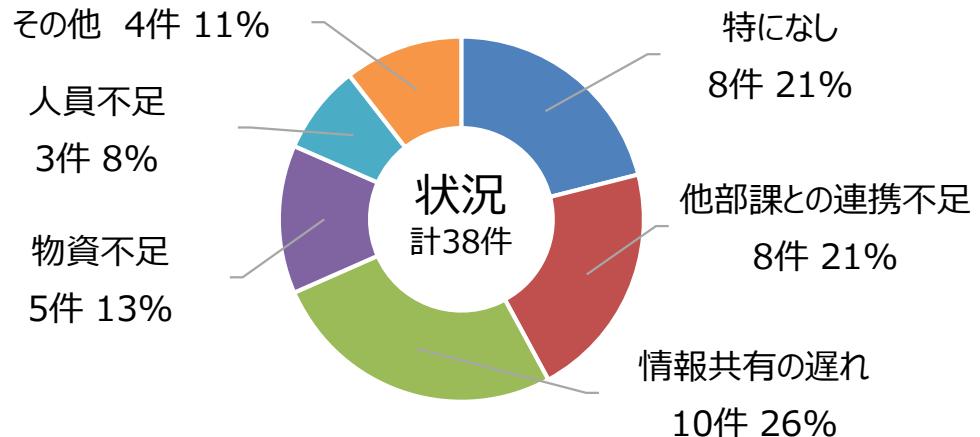
4. 役割分担の明確さ



【理由自由記載概要】

- ・事前に用意されたマニュアルや動員態勢があったため明確だった
- ・部内の役割分担は的確だった
- ・各々出来ることを率先して手上げして、自然な流れで役割分担出来たと思う
- ・市庁舎1階の職員等の避難について、誰がどの段階で決定するべきなのか不明確であった
- ・医療機関状況の確認や保健所との連絡がスムーズでなく、動きが後手にまわっていた

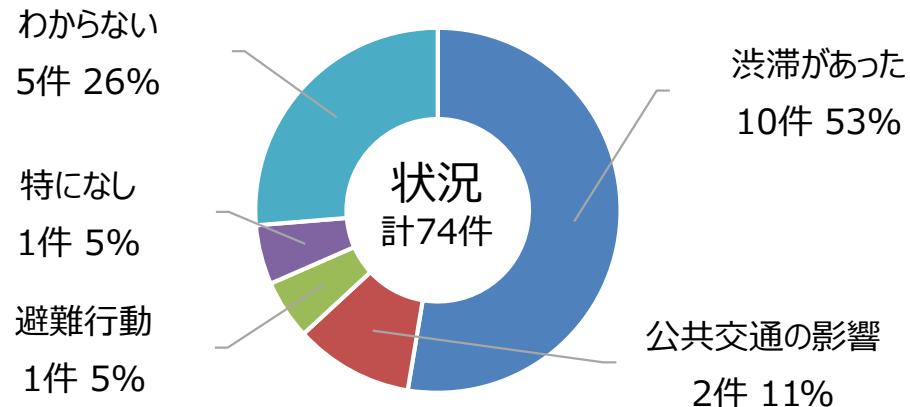
5. 活動中に発生した課題（複数回答）



【理由自由記載概要】

- ・市民からの電話を受けている間に各放送局（マスコミ）からの電話も交換経由でくるため、災害時のマスコミからの電話を分けると良い
- ・物資を供給したかったが、ダンボールの中身が細かくわからなかった
- ・渋滞による市役所から避難所までの到着の遅延
- ・暑さ対策、ハサミ類がなかった

6. 周辺道路の渋滞や混雑の影響（自由記載）



【その他自由記載概要】

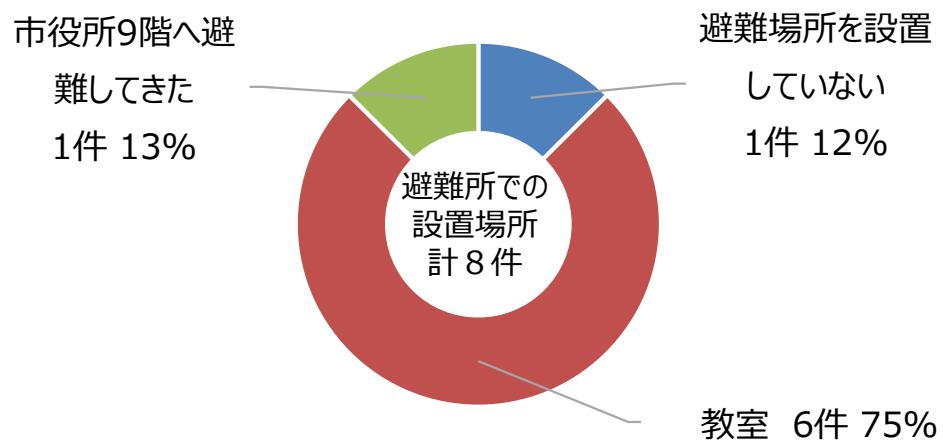
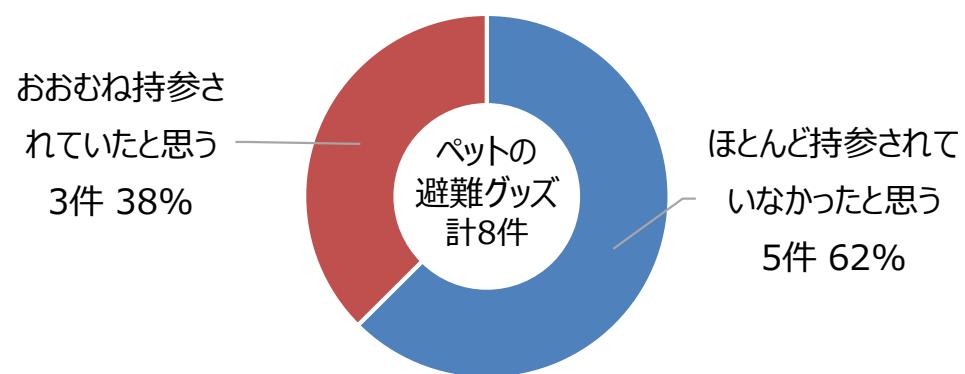
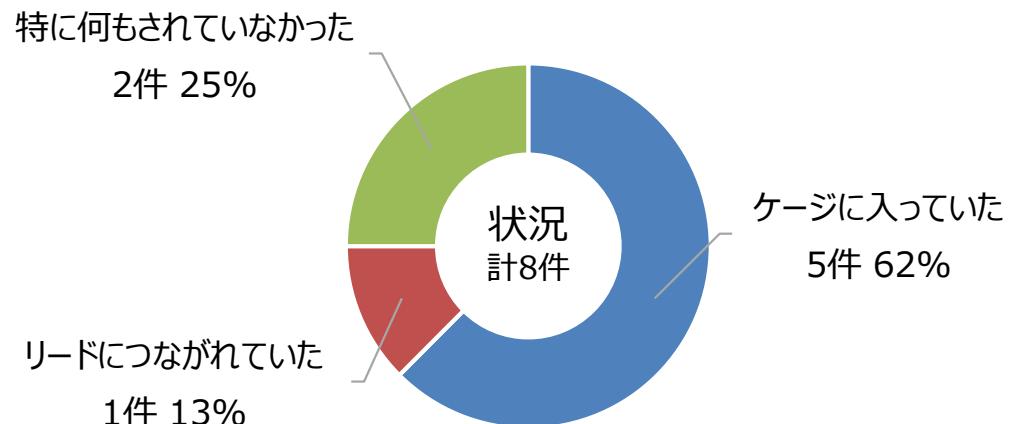
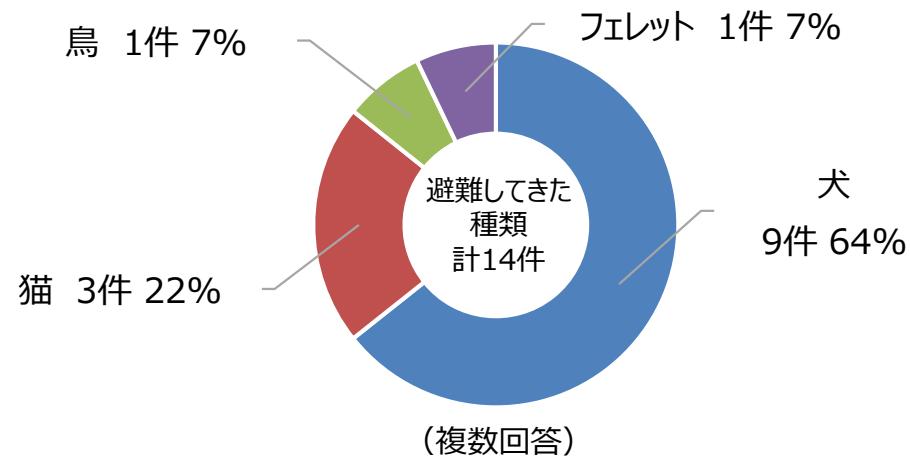
- ・避難所である啓明中学校までの道中が渋滞しており、到着までに時間がかかった
- ・遅れる場合のマニュアルがあればありがたい
- ・普段はバス通勤だが、警報が発表された日は途中から運休となった
- ・当日は徒歩帰宅して翌朝は自転車出勤した
- ・現地対応ではないが、市内認可教育・保育施設に対して、津波警報による避難対応について情報展開を行った

周辺道路の渋滞や混雑の影響



⑤庁内部局向けアンケート

7.ペット同行避難について（避難所担当班のみ回答）



7. 自由記述 ※回答総数：25件（重複・空欄除く）

全体概要（主なテーマの分類とその概要）

- ① 避難所運営・備蓄の改善
 - ・避難所備蓄の不足
- ② 庁舎の避難行動ルールの明確化
 - ・庁舎内の職員避難について
- ③ 他部課との連携・情報共有の強化
 - ・他部課との連携が弱く、情報が伝わらない、上層部と現場の情報が一致しない
- ④ 職員研修（避難所/災害対応）の必要性
 - ・災害業務の理解不足
- ⑤ マニュアル整備・実用性の向上
 - ・現場の意見がマニュアルへ反映されていない

8. 今後の課題

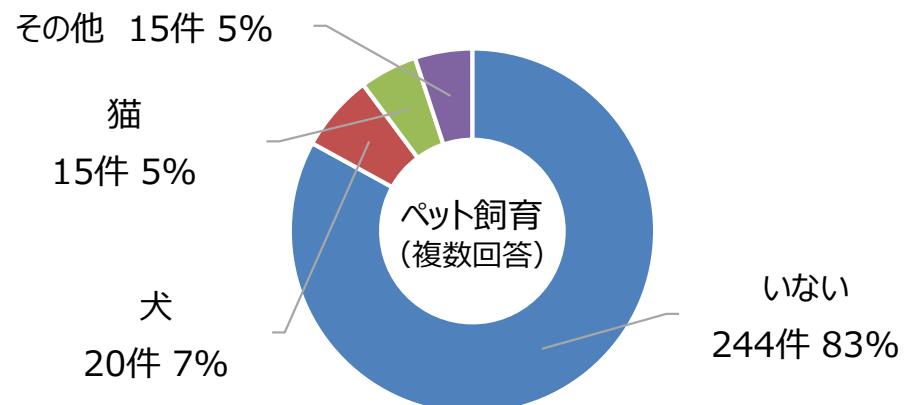
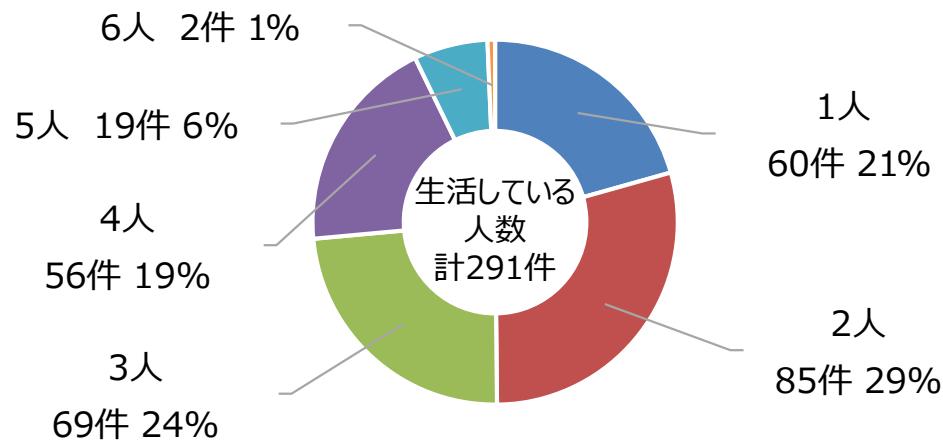
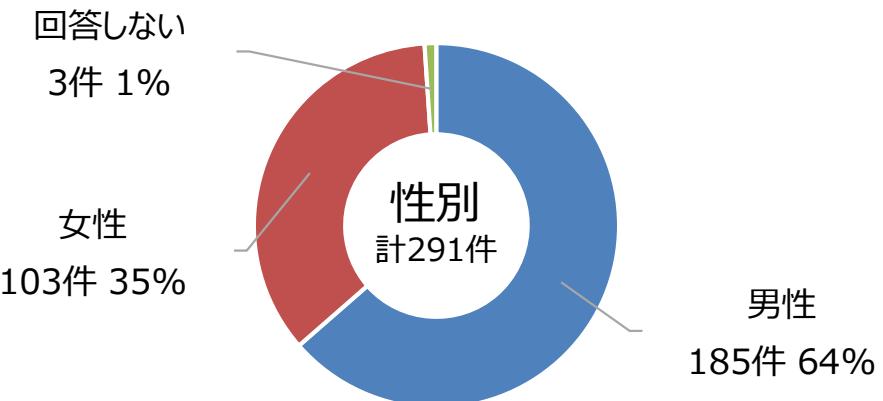
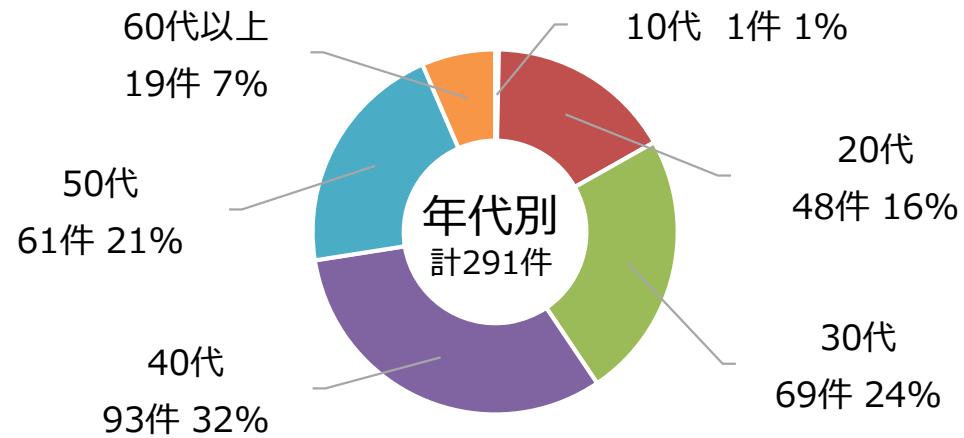
- ① 避難所備蓄の最低基準を設定
- ② 庁舎内避難の判断ルール明確化
- ③ 災害対応マニュアルの更新
- ④ 部課間連携・情報共有を強化
- ⑤ 職員研修（避難所運営、災害対応）の定例化

⑥職員個人向け アンケート調査結果



とまチヨップ
TOMAKOMAI CITY

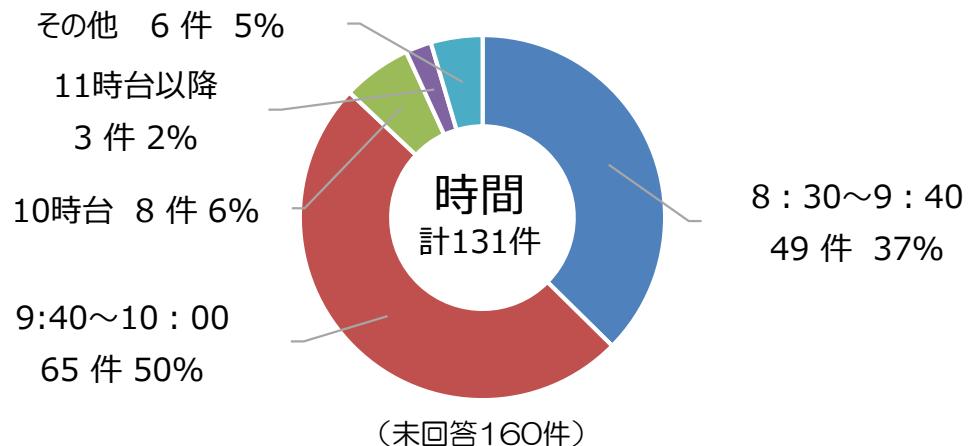
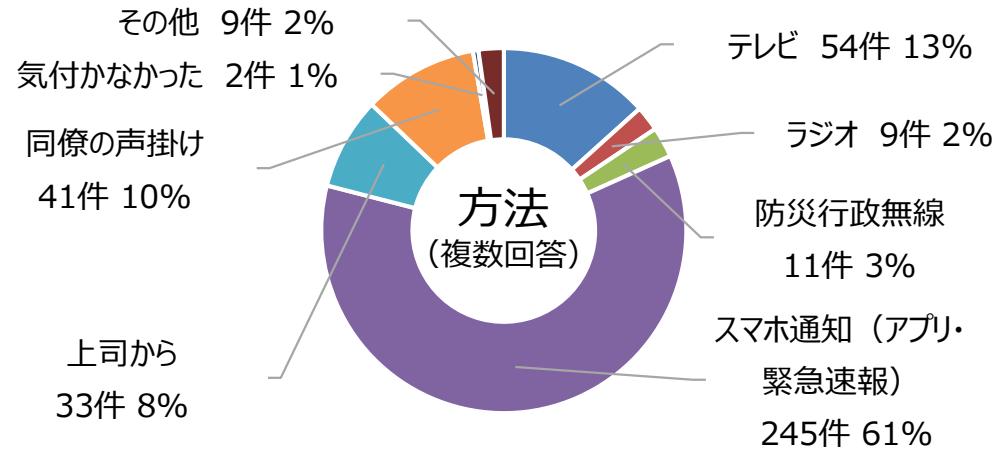
1. 基本情報



【その他自由記載概要】

哺乳類（ウサギ、ハムスター、モルモット）、小魚類、
爬虫類（カメ、トカゲ、ヘビ、など）鳥類、昆虫

2. 津波警報の認知について

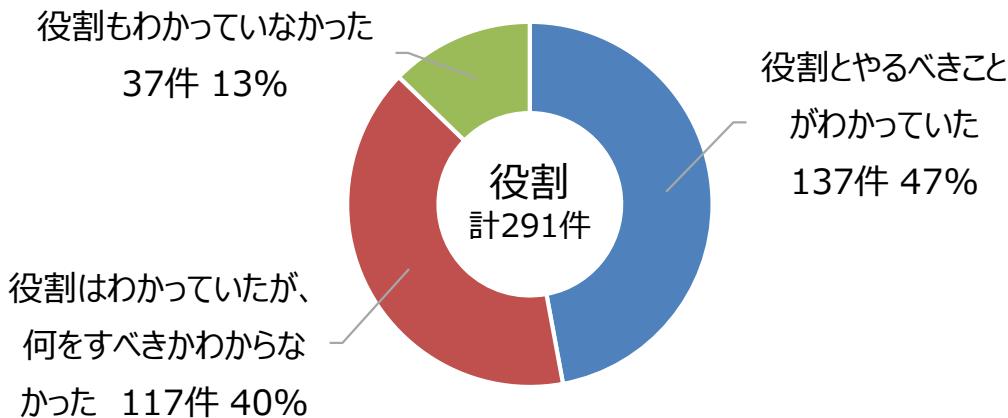


【その他自由記載概要】

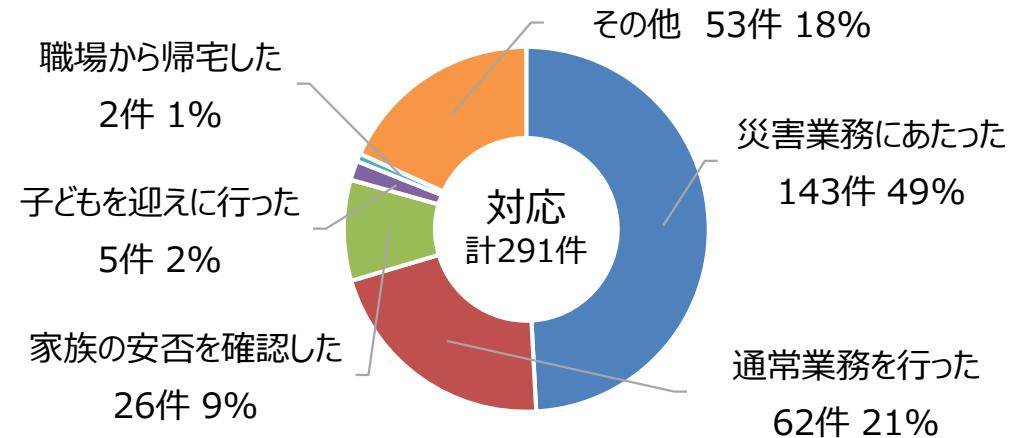
- ・庁舎内アナウンス
- ・休暇で外出先で電波が通じてから親族から聞いた
- ・国際線の飛行機に乗っていて知ることができなかった
- ・市こども研修事業にスタッフとして業務中、フェリー（さんふらわあ）の船内放送で知りました
- ・市公式LINE等SNS 6件

⑥職員個人向けアンケート

3. 当時の自分の役割について



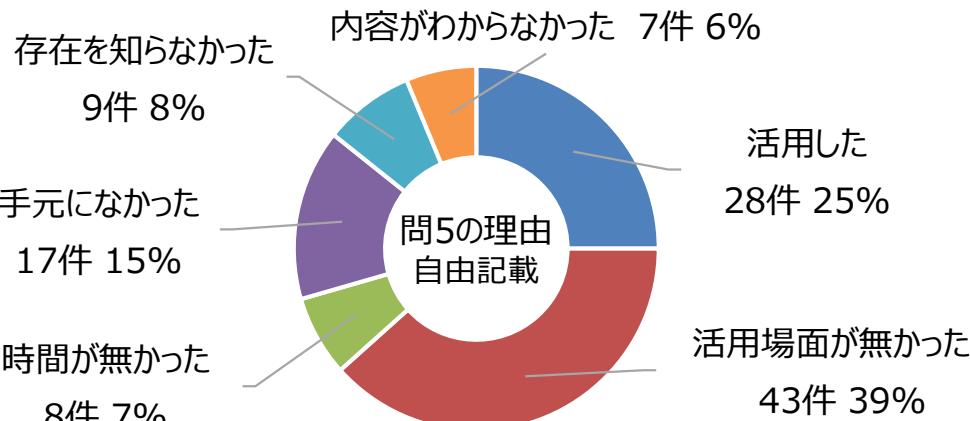
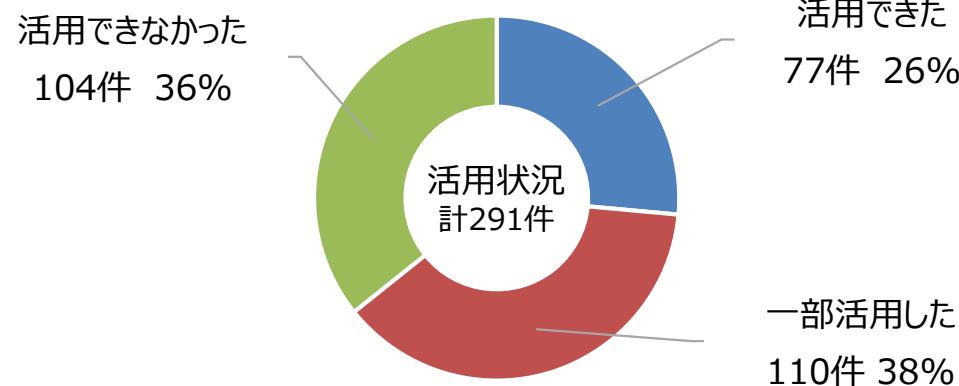
4. どのような対応をしたか



【その他自由記載概要】

- ・休暇中・船内で小中学生のサポート。
- ・子どもが発熱しており、看護休暇中だったが、子を親族に預けて避難所開設・運営に向かった。

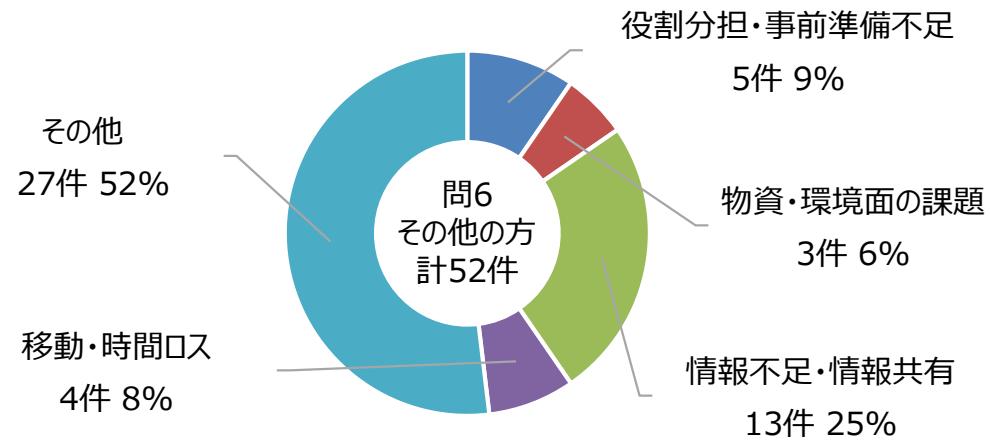
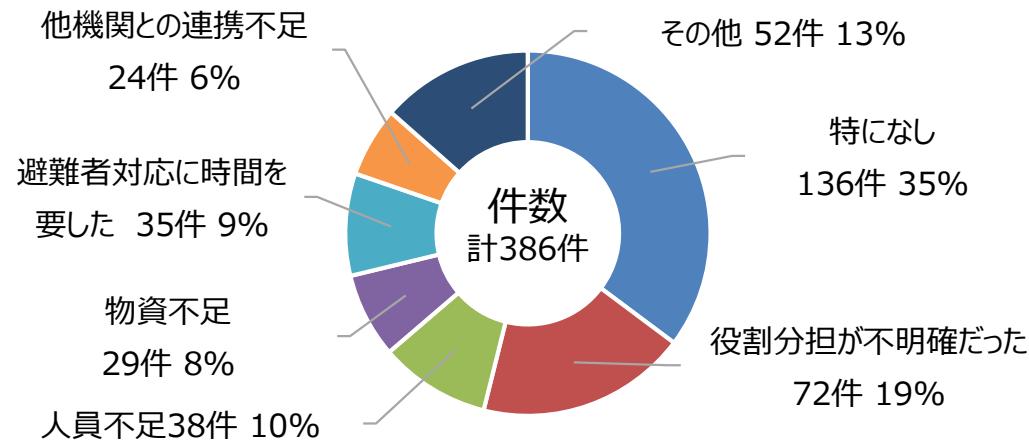
5. 運営マニュアル等の活用状況について



【その他自由記載概要】

- ・災害対応を行わなかつた・休暇中だった
- ・すでに避難者がいて確認ができなかつた

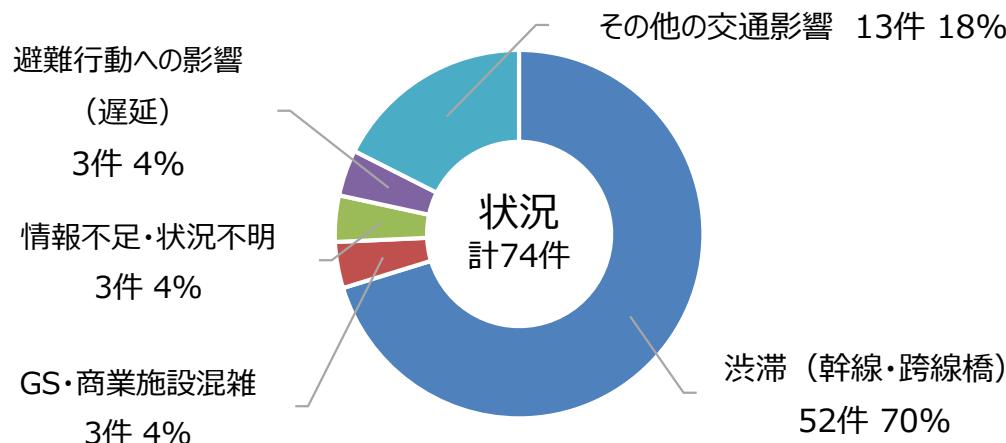
6. 災害対応時に困ったこと（複数回答）



【その他自由記載概要】

- ・休暇中　・暑さ対策
- ・ロゴチャットで連絡を取っていたが人によって携帯に入れていない人もいたため、義務にすべき
- ・避難所担当者が交通渋滞により、避難所到着に時間を要していた

7. 周辺道路の渋滞や混雑の影響（自由記載）



【その他自由記載概要】

- ・北側へ向かう跨線橋はすべて渋滞していた
- ・帰宅時、ガソリンスタンドに列ができるを見かけた
- ・学校到着時には人が溢れかえっていたが、学校の先生たちが迅速な対応をしてくれていて、避難者と災害対応者の駐車スペースを分けてくれていたので助かった
- ・業務中外出していないので不明
- ・当日朝から札幌にいたが、被害がないにもかかわらず苫小牧方面への交通がすべて止まっていて帰宅が困難だった

7. 自由記述 ※回答総数：113件（重複・空欄除く）

全体概要（主なテーマの分類とその概要）

- ① 情報伝達・連絡体制の改善要望
 - ・3mの津波なのに「車で高丘に殺到」するなど混乱が起きている
- ② 避難行動・避難誘導のルール不明確さ
 - ・安全確保と公務の優先度のバランスが示されていない
- ③ 庁内体制（役割分担・深夜対応・人員体制）の脆弱性
 - ・災害時出勤のルール（家族がいる場合、子どもがいる場合）が不明
- ④ 市民・避難所運営の現場課題の把握不足
 - ・避難所開設訓練や受付の統一ルールが必要
- ⑤ ロゴチャット等の緊急連絡ツールの未統一
 - ・LoGoチャットを緊急時に使うなら、全職員義務化に

8. 今後の課題

- ①情報伝達改善
- ②庁内向け避難行動ルールの策定
- ③深夜・休日対応マニュアルの検証
- ④職員向けの避難所運営研修の実施
- ⑤LoGoチャットの運用ルール整備